

総 説

車両型式一覧表	0-2
車両全体写真	0-3
車両全体図	0-6
記号の意味	0-12
車両性能曲線	0-13
エンジン性能曲線	0-25
No. 打刻位置	0-27
ネーム プレート	0-27
定期手入れ表	0-32
けん引時ロープがけ位置	0-37
作業にあたって	0-37

車両型式一覧表

	名 称	エンジン 型 式	マニュアル トランスミッション		トヨグライド	
			3段コラム シフト	4段フロア シフト	3段コラム シフト	3段フロア シフト
セ ダ ン	トヨペット コロナ マークⅡ デラックス	6 R	R X10-YD	R X10-KD	R X10-ND	
	マークⅡ 2000 デラックス	18 R	R X12-YD	R X12-KD	R X12-ND	R X12-HD
	マークⅡ GL	18 R		R X12-KN		R X12-HN
	マークⅡ GSL	18R-B		R X12- KNB		R X12- HNB
		18R-BR		R X12- KNBR		R X12- HNBR
マークⅡ L	M		MX10-KN		MX10-HN	
ハ ー ド ト ツ プ	トヨペット コロナ マークⅡ ハードトップ	6 R		R X20-KD		R X20-HD
	マークⅡ ハードトップ 2000	18 R		R X22-KD		R X22-HD
	マークⅡ ハードトップ GL	18 R		R X22-KN		R X22-HN
	マークⅡ ハードトップ SL	18R-B		R X22- KDB		R X22- HDB
		18R-BR		R X22- KDBR		R X22- HDBR
	マークⅡ ハードトップ GSL	18R-B		R X22- KNB		R X22- HNB
		18R-BR		R X22- KNBR		R X22- HNBR
マークⅡ ハードトップ L	M		MX20-KN		MX20-HN	
ワ ゴ ン	トヨペット コロナ マークⅡ ワゴン	6 R	R X26-YD	R X26-KD	R X26-ND	
	マークⅡ 2000 ワゴン	18 R	R X28-YD	R X28-KD	R X28-ND	
バ ン	トヨペット コロナ マークⅡ バン	6 R	R X16V- YR			
	マークⅡ バン デラックス	6 R	R X16V- YD	R X16V- KD		

車両全体写真

0



第0-1図 マークII GL

MP0420



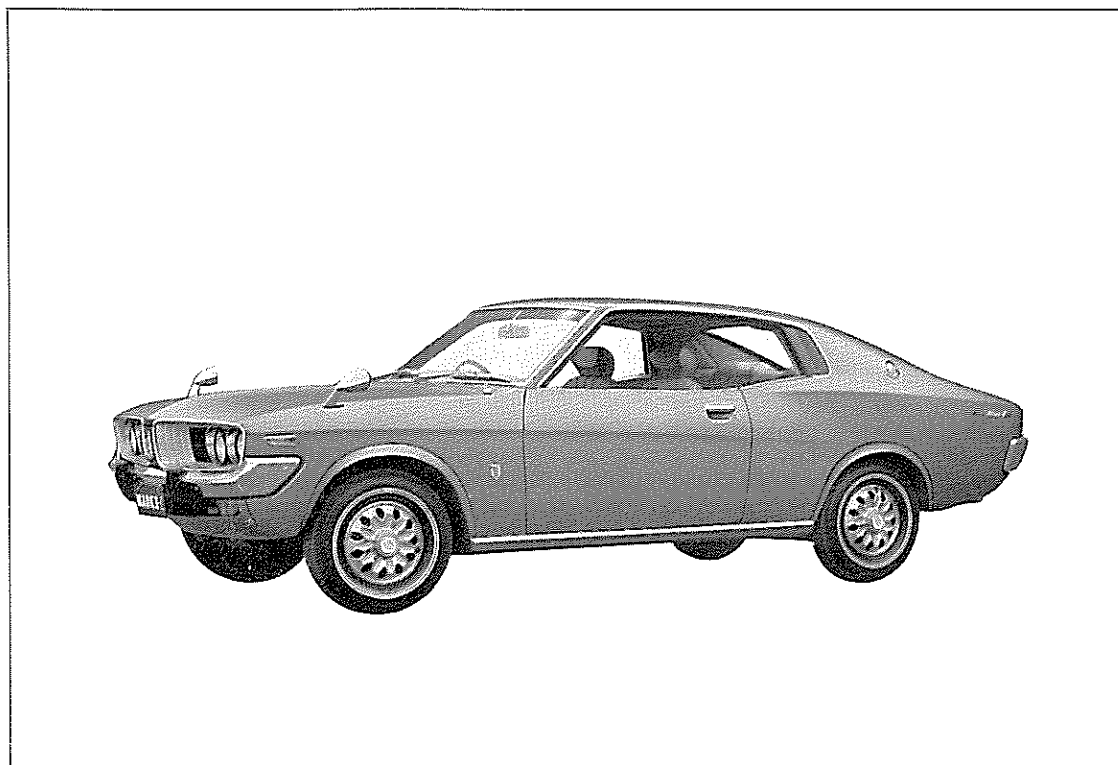
第0-2図 マークII L

MP0455



第 0-3 図 マークⅡ ハードトップ 2000

MP0422



第 0-4 図 マークⅡ ハードトップ L

MP0456



第0-5図 マークII パン デラックス

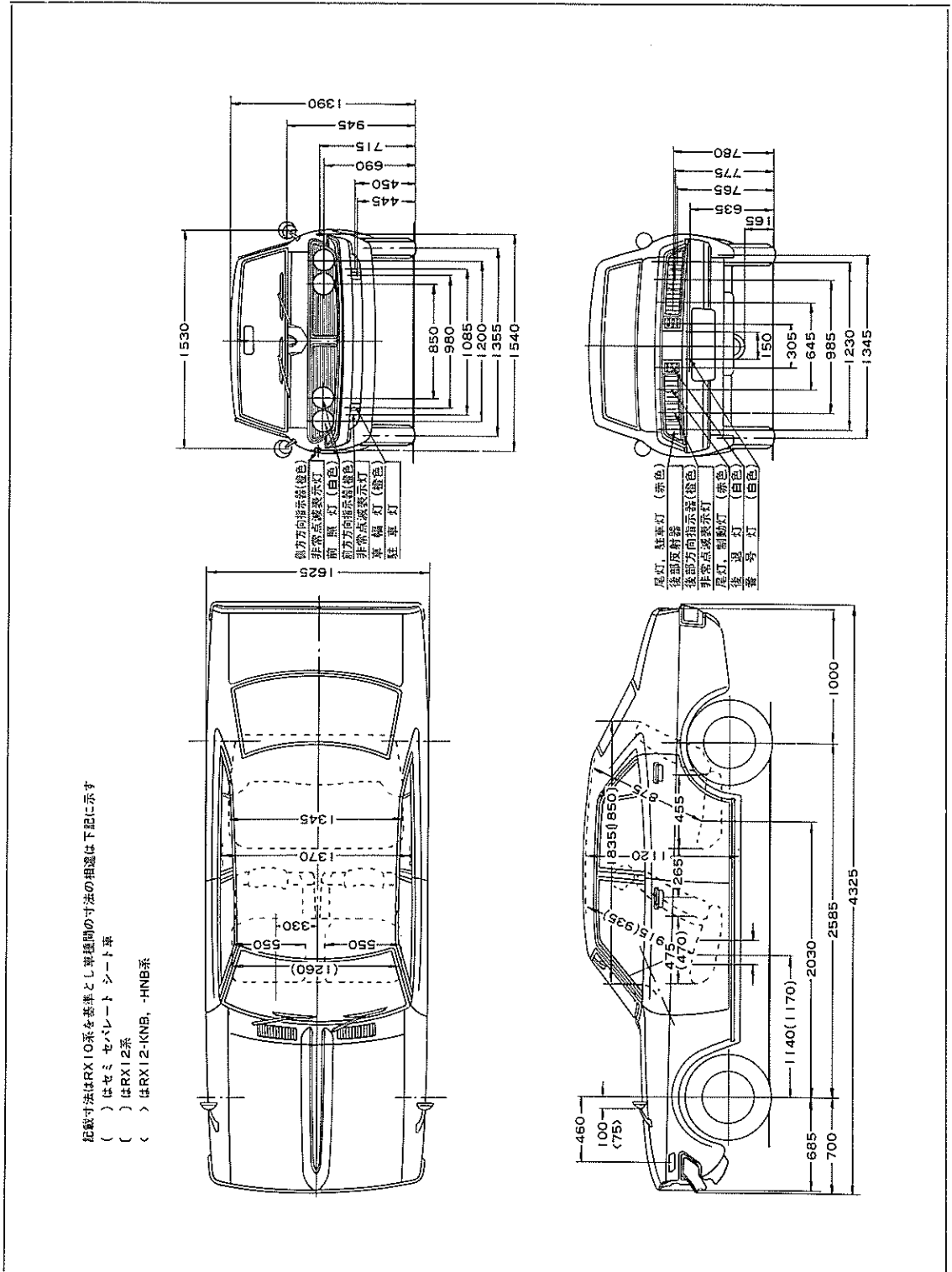
MP0424



第0-6図 マークII ワゴン

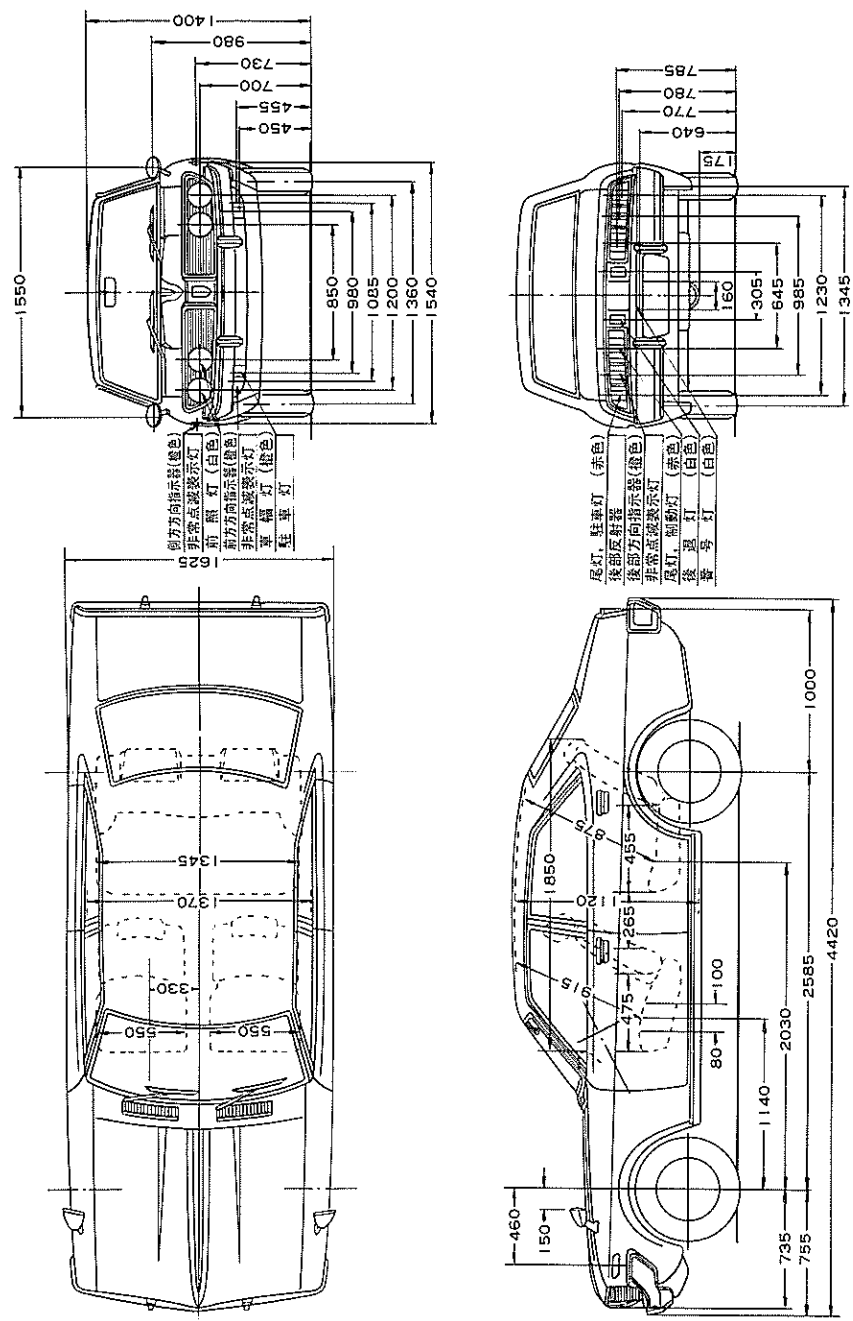
MP0426

車両全体図



第0-7図 RX10, 12系車

S1119

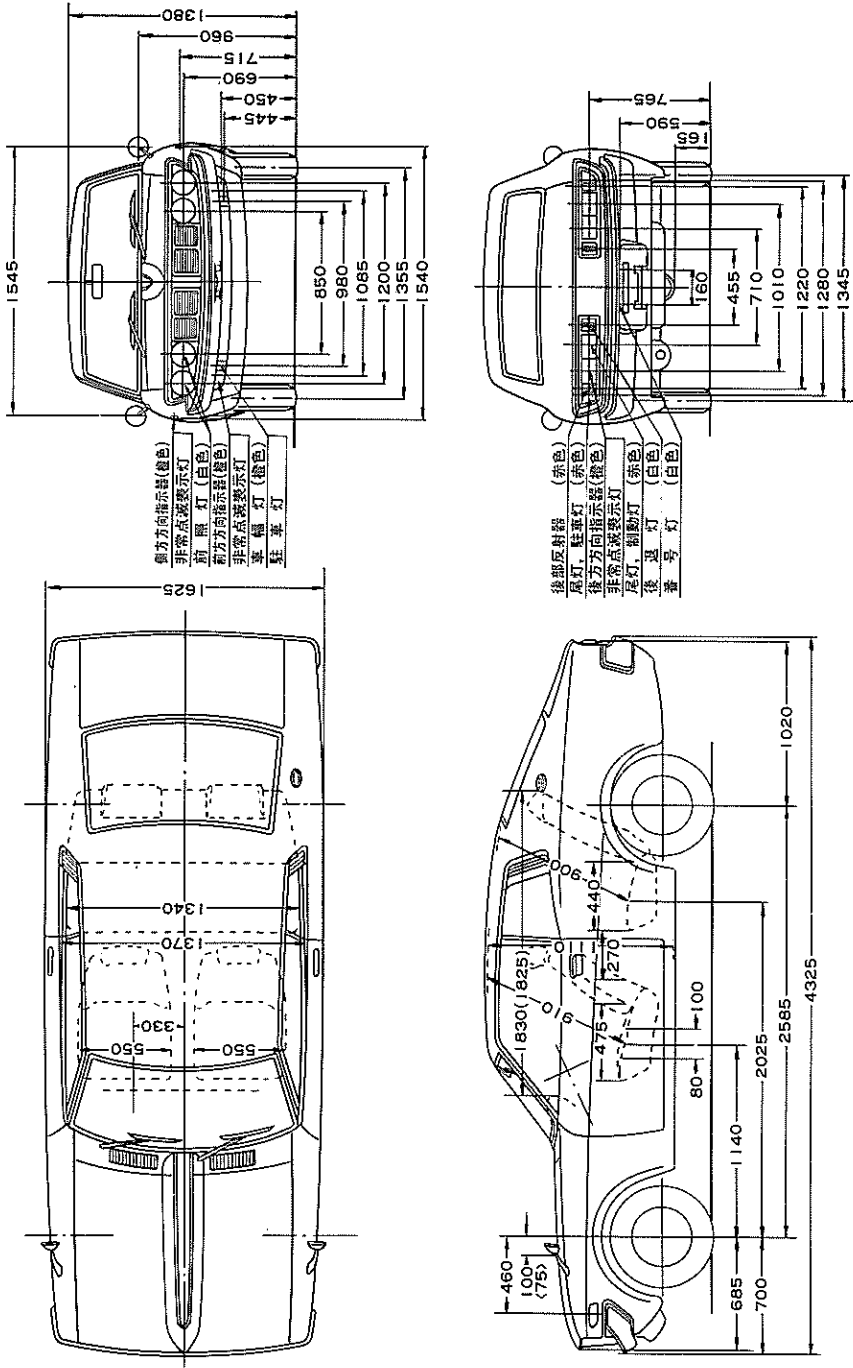


第0-8圖 MX 10系車

S1120

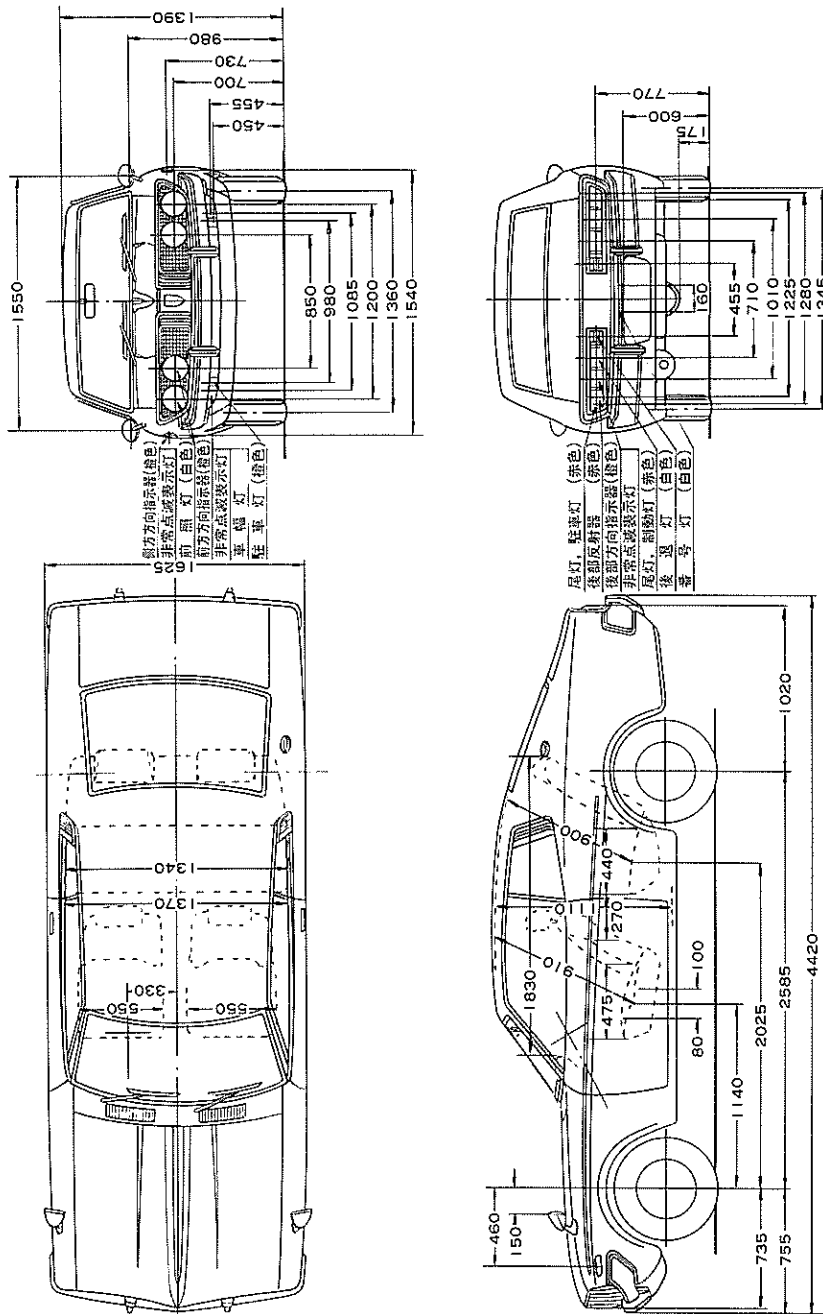
記載寸法はRX22-KN, HNを基準とし、車種間の寸法の相違は下記に示す

() はRX20, 22-D系
 < > はRX22-KNB, -HNB系



第0-9図 RX20, 22系車

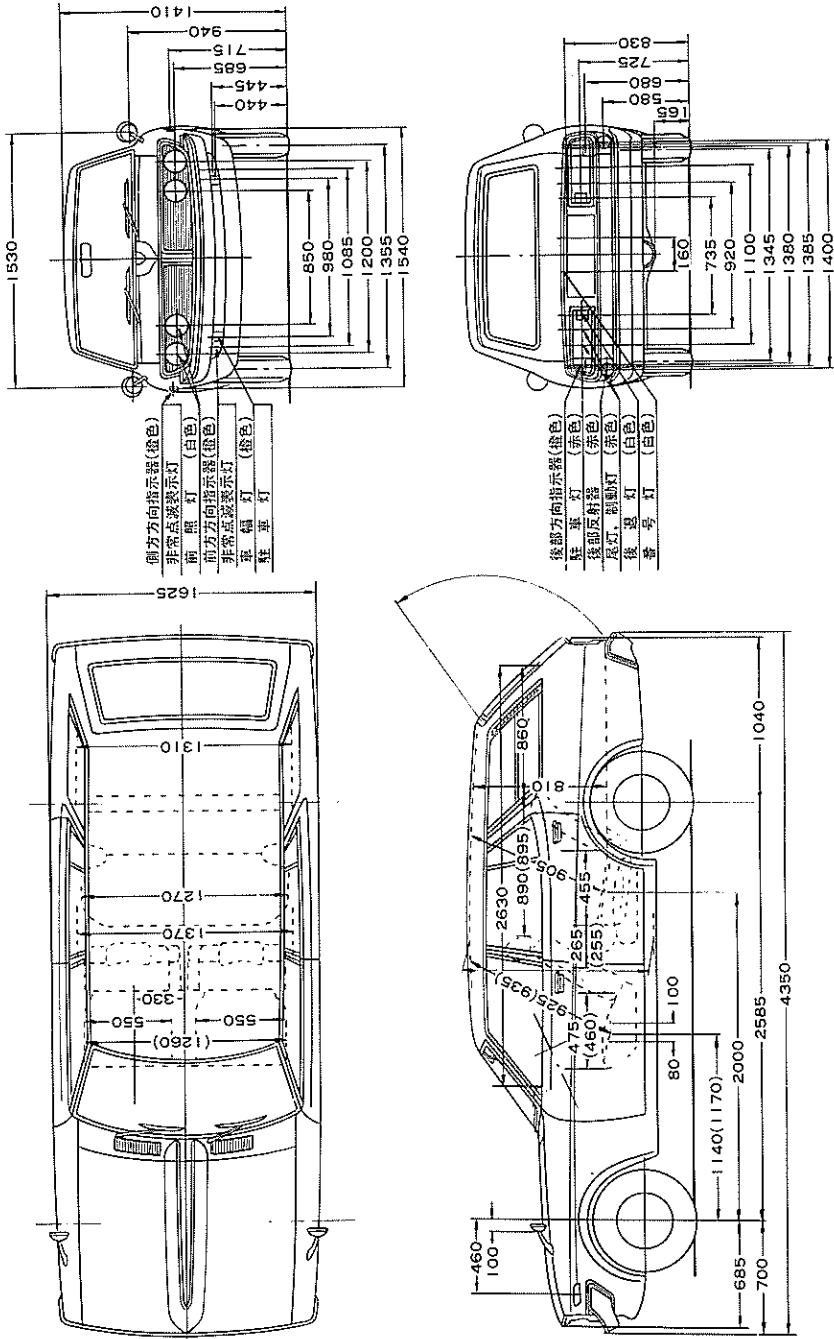
S1121



第0-10图 MX20 系車

S1122

()はスプリットシート車



第0-12図 R X 26, 28 系車

S1123

記号の意味

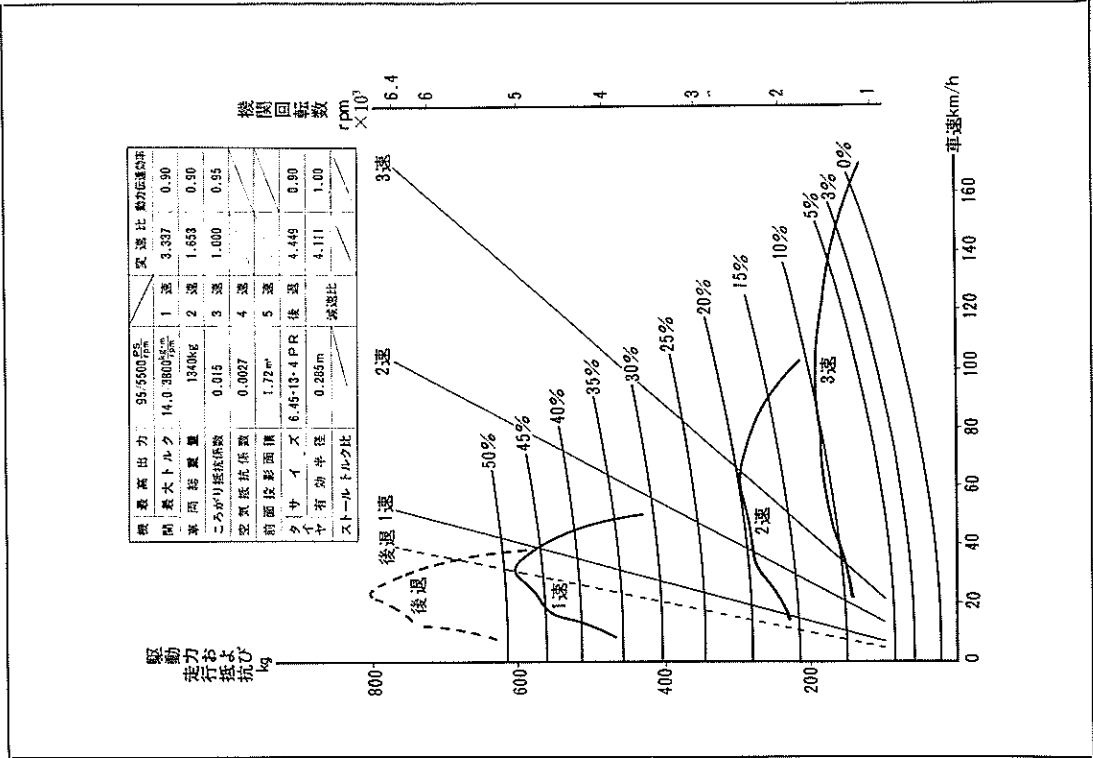
本書にはトヨタ独自の次の記号が使用してありますのでその意味を示します。

記号	原語	意味
R H	Right hand (ライトハンド)	右側
L H	Left hand (レフトハンド)	左側
S S T	Special service tool (スペシャルサービスツール)	特殊工具とよび、この車のサービスのために特に当社サービス部が作製した工具です。 文中では品番を〔 〕でかこんで表示してあります。
S T D	Standard (スタンダード)	標準の略で、メーカーで組み立てられたとき使用されている部品の寸法です。
R E P S T D	Repair standard (リペアスタンダード)	部品によつては1回取りはずすとはめ合い等がゆるくなり、二度と同じ寸法のものを組み付けられない場合があります。この場合REP STDといつて、純正部品はメーカー組み付け用とは異なっています。
O/S	Over-size (オーバーサイズ)	長期の使用で摩耗したり、何回かの脱着によつてはめ合いがゆるくなつたものには、はめる方(たとえばピストン)を大きな寸法のものとの交換することによつて相手側は再使用できることとなります。このSTDより寸法の大きいものをO/Sで表示します。
U/S	Under-size (アンダーサイズ)	O/Sと同様はめられる方(ブシュ、ベアリング等)を穴の小さいものと交換することにより、相手の軸等が再使用できることとなります。この寸法(内径)の小さいものをU/Sで表示します。

車両走行性能曲線

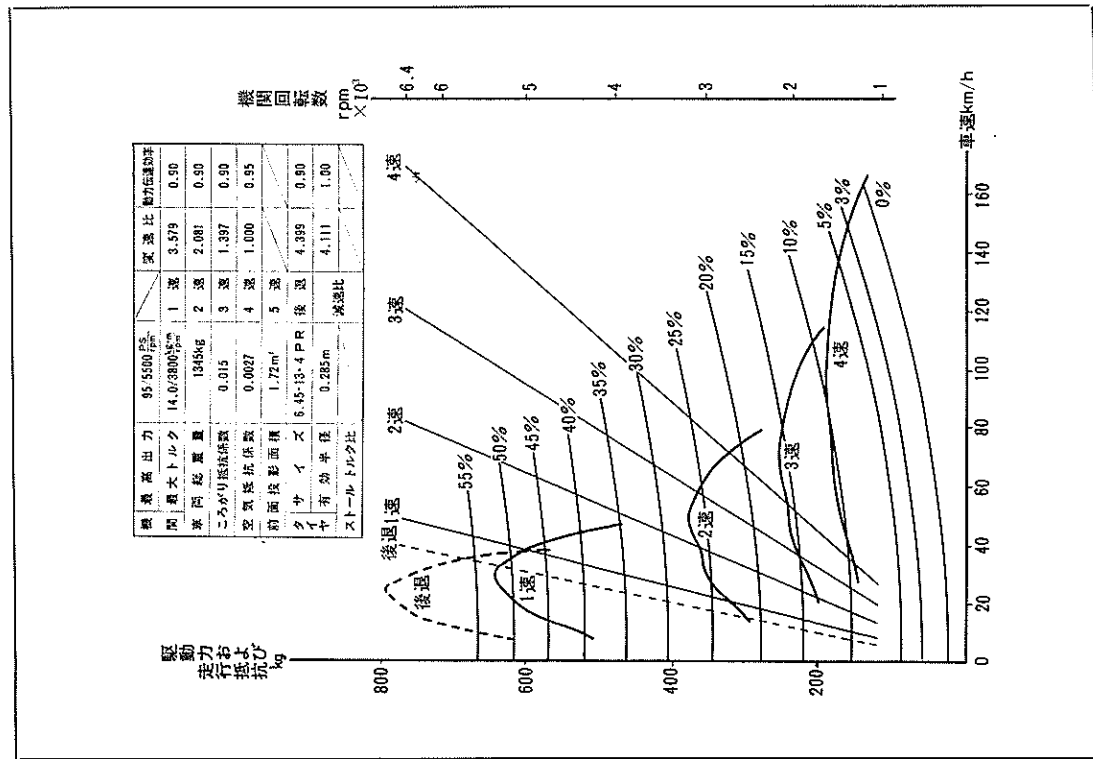
G9029

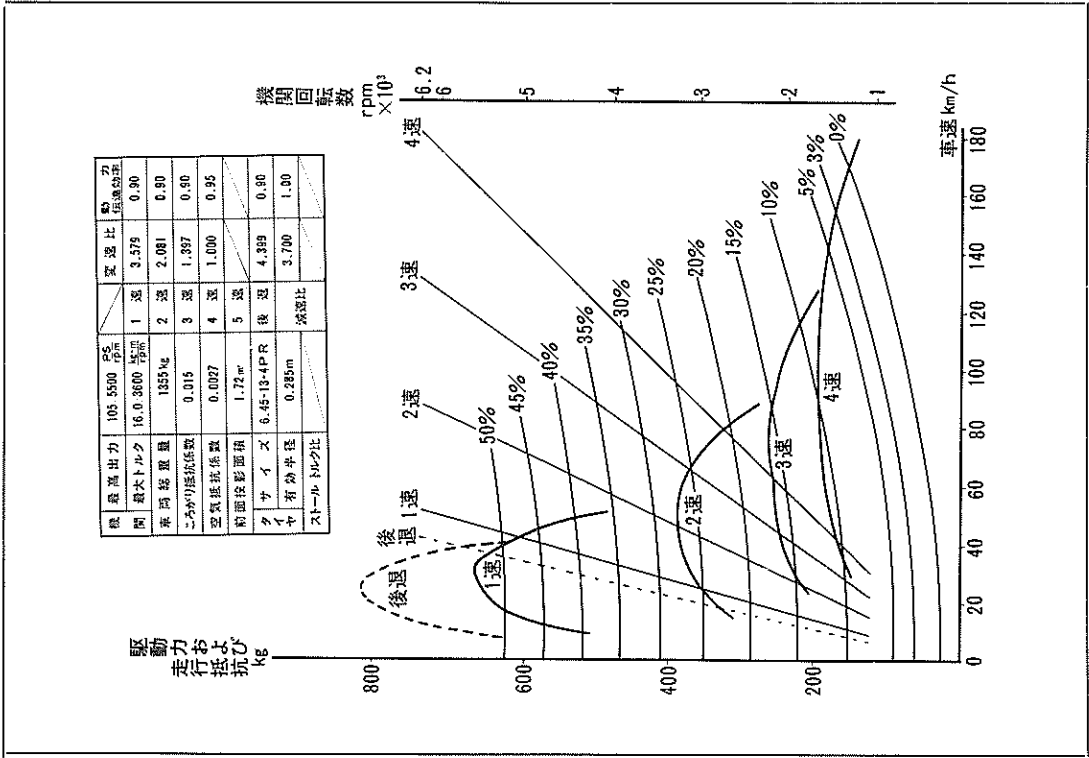
第0-14図 RX10-YD 型車



G9028

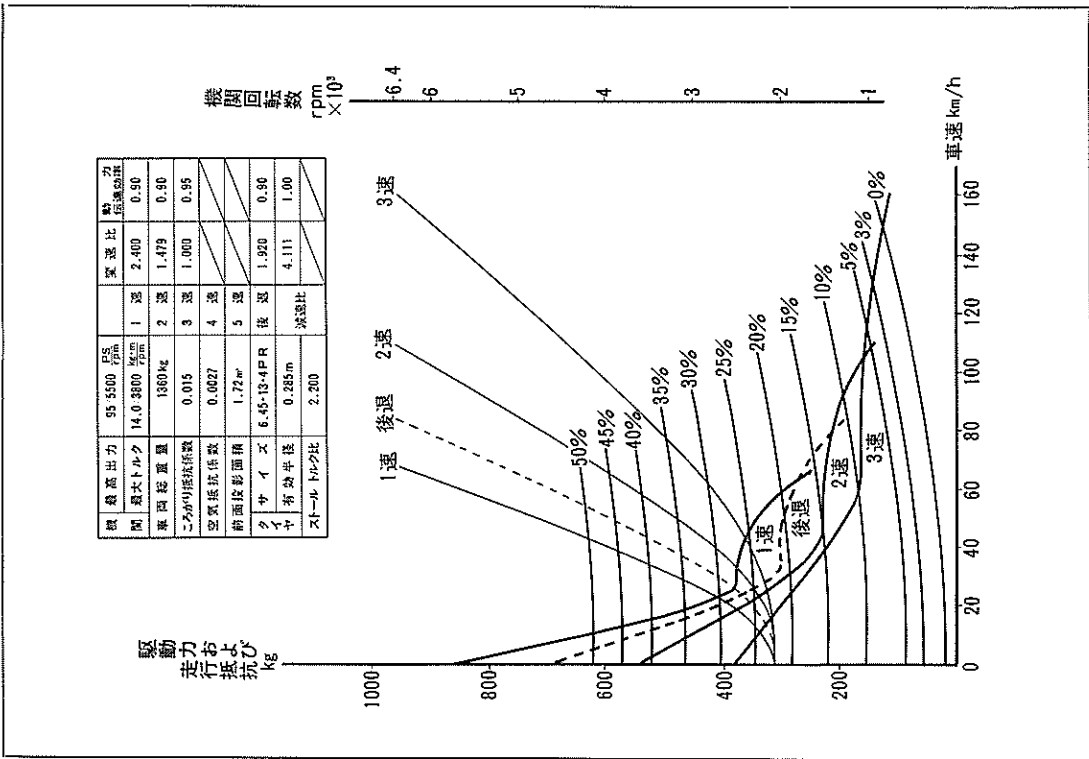
第0-13図 RX10-KD 型車





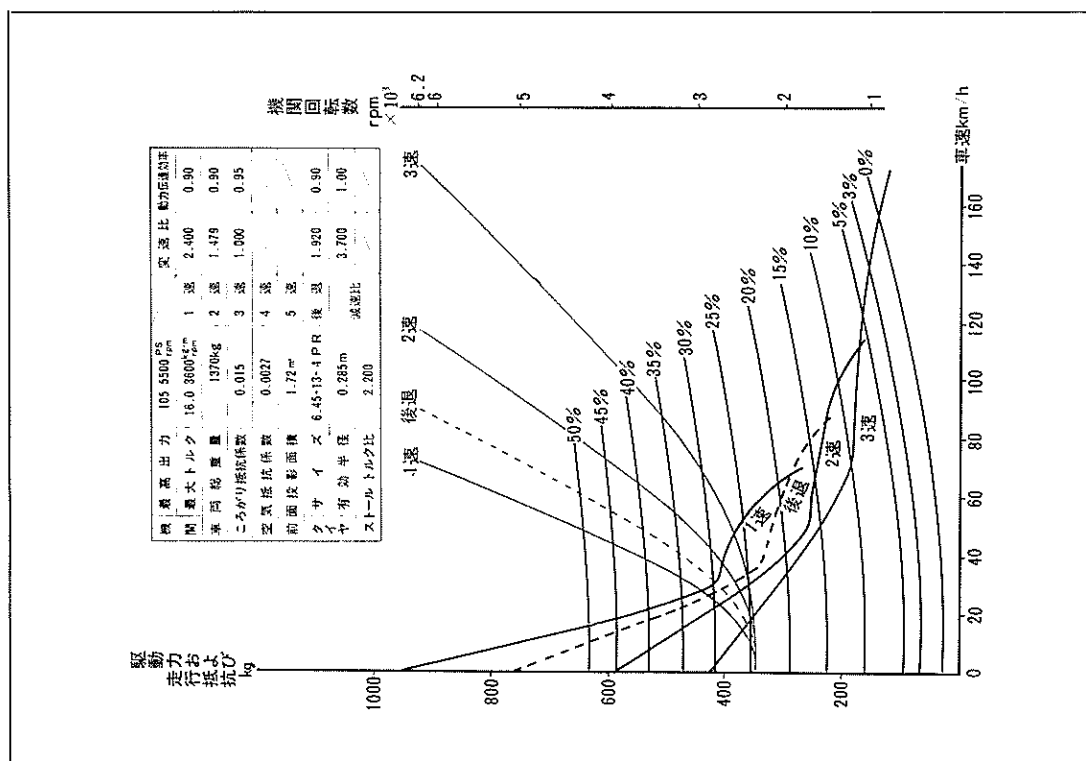
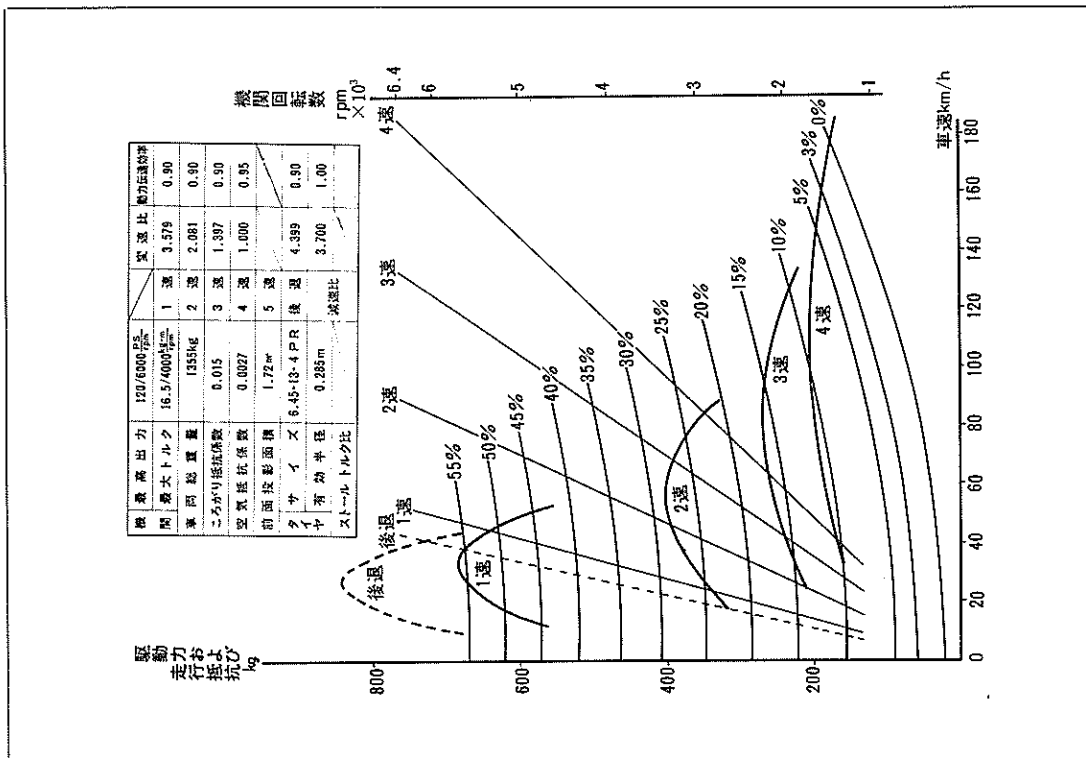
G8826

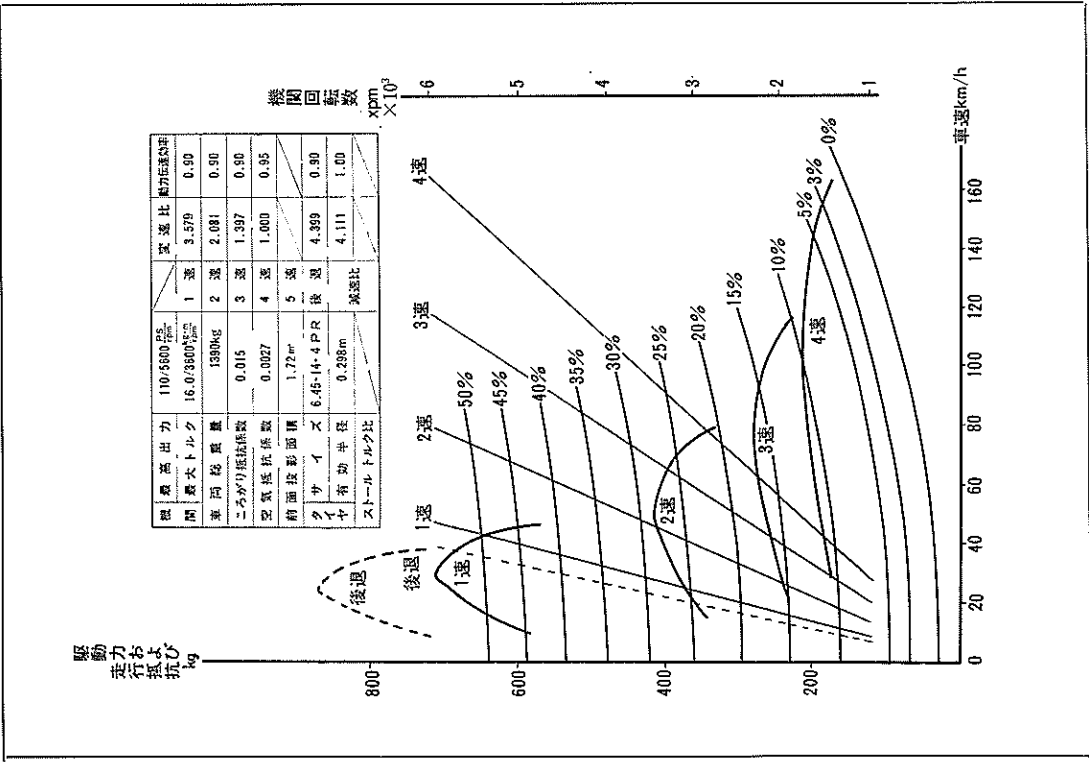
第0-16図 RX12-KN 型車



G8825

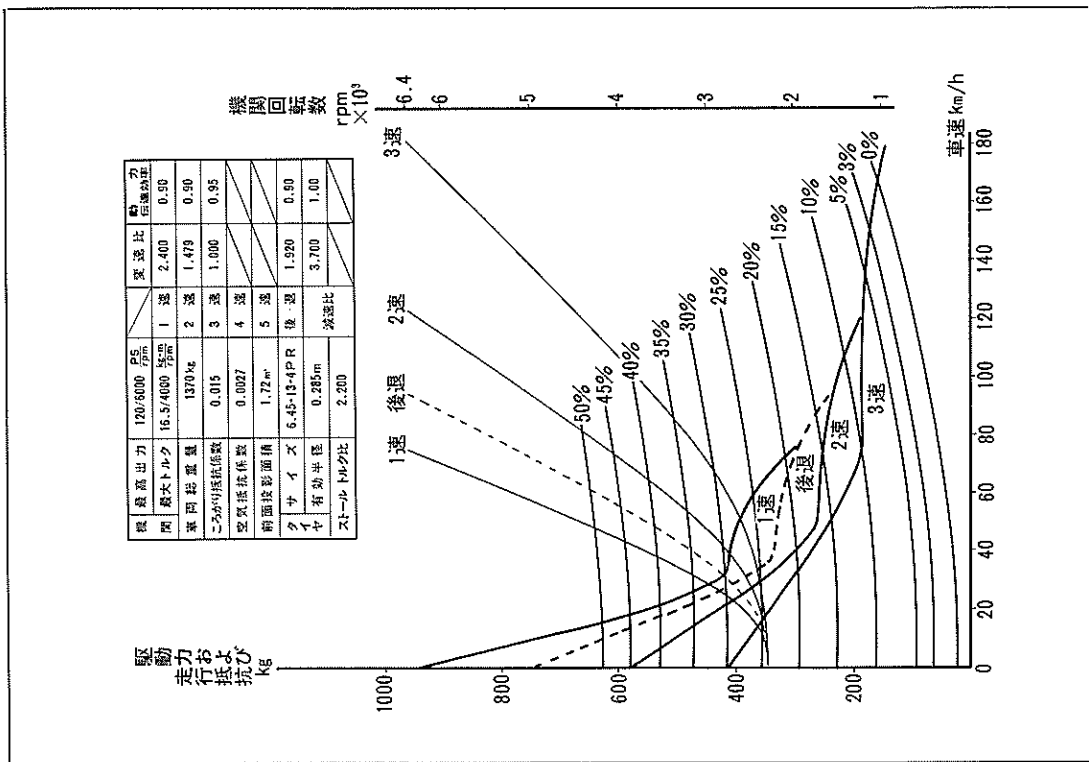
第0-15図 RX10-ND 型車





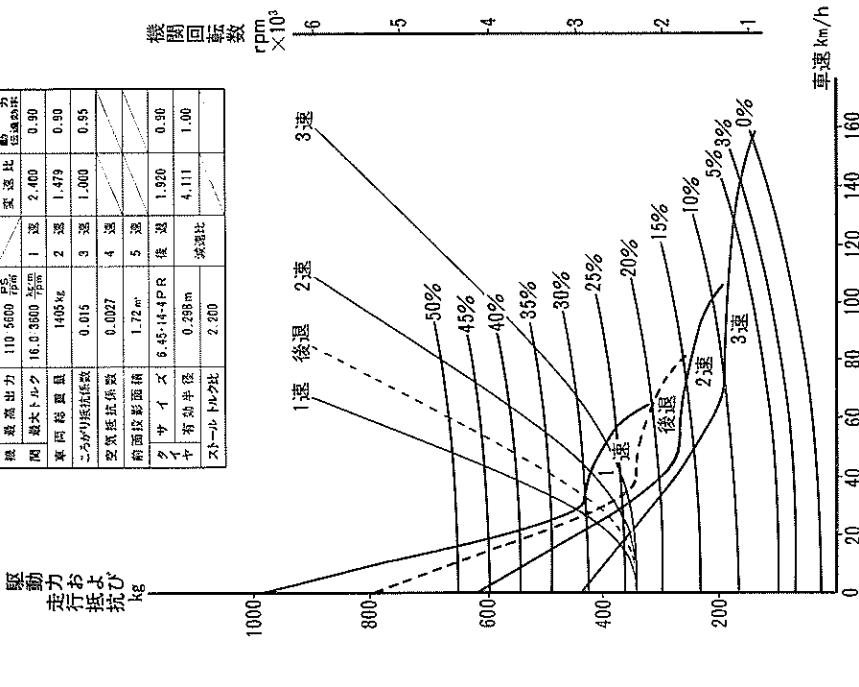
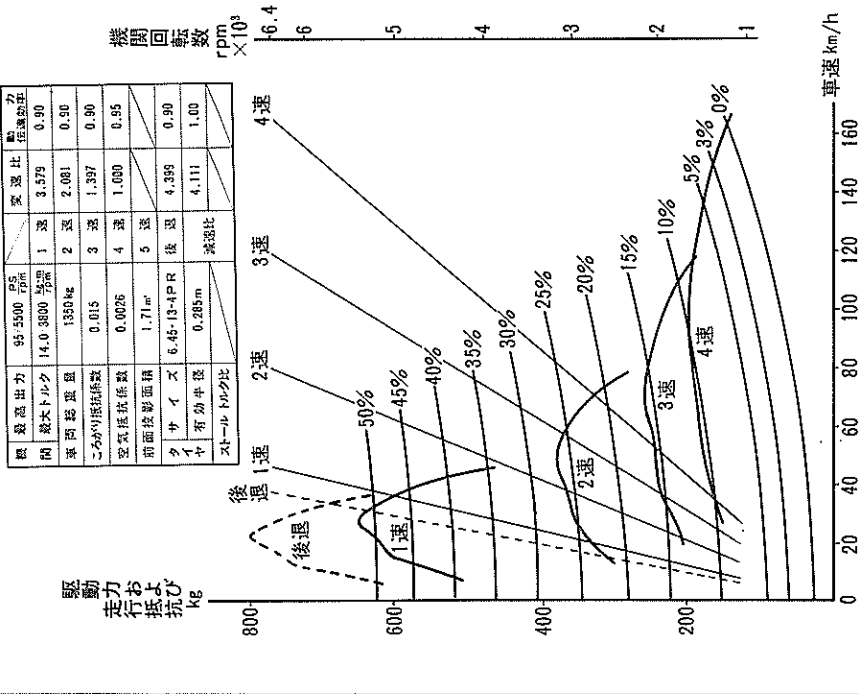
第0-20図 MX10-KN 型車

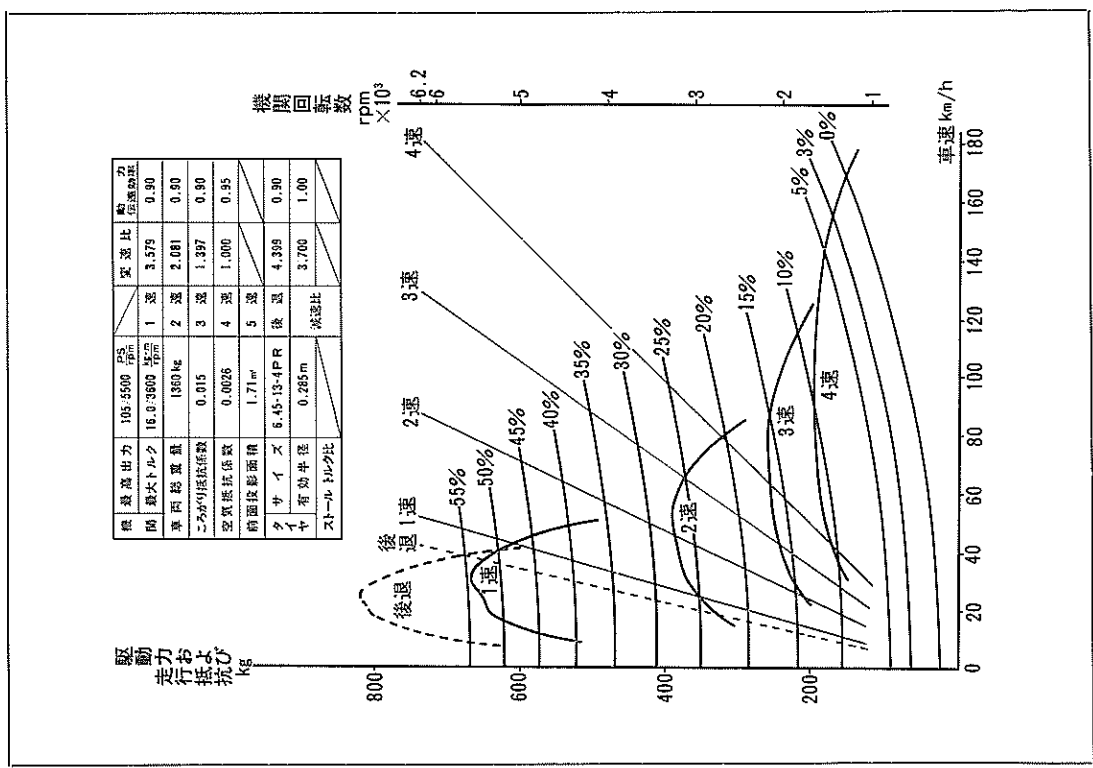
G9038



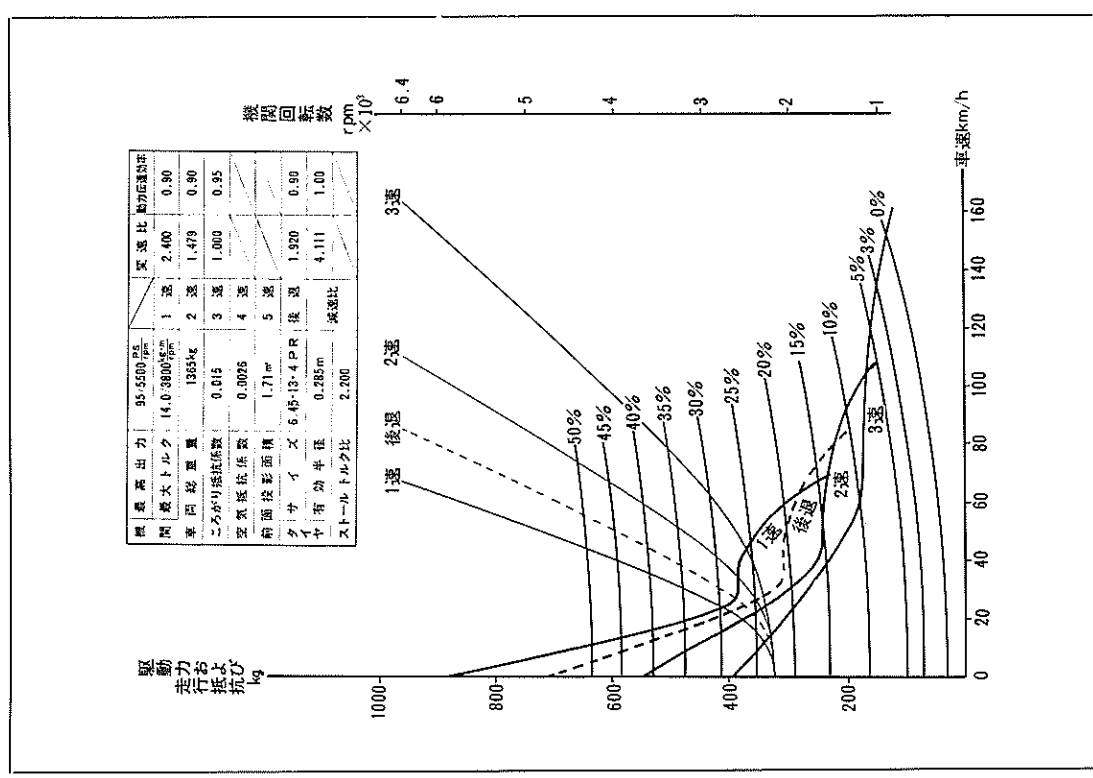
第0-19図 RX12-HNB 型車

G8829

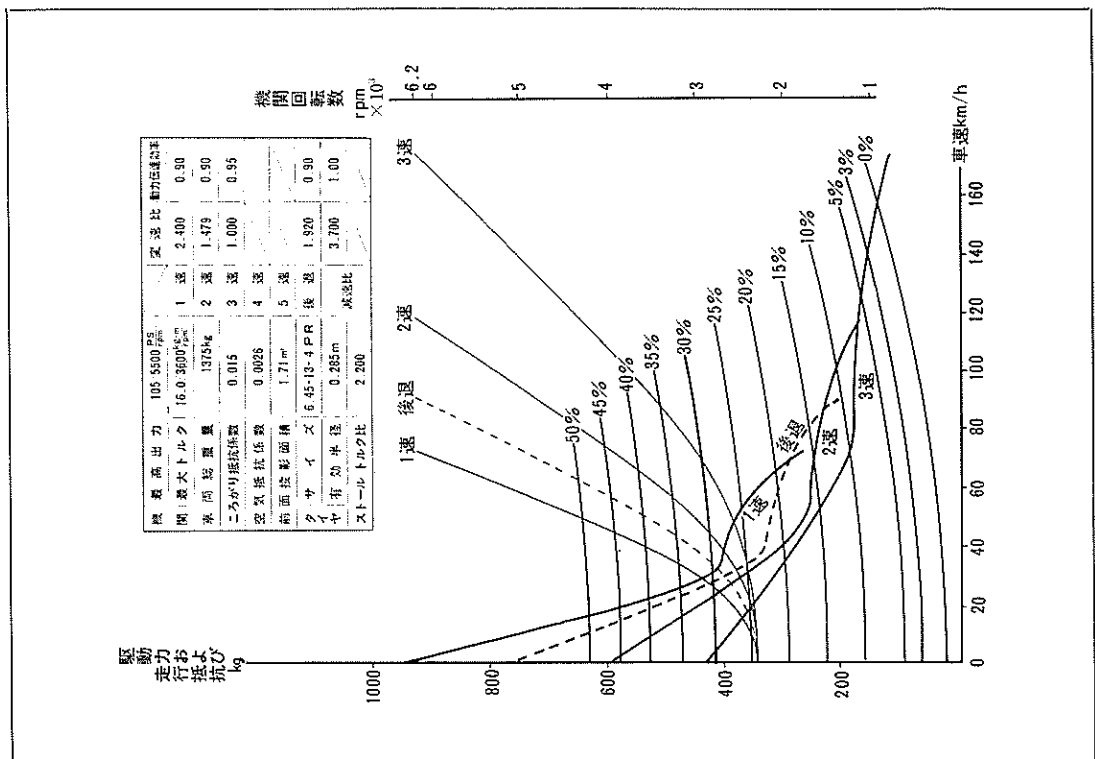
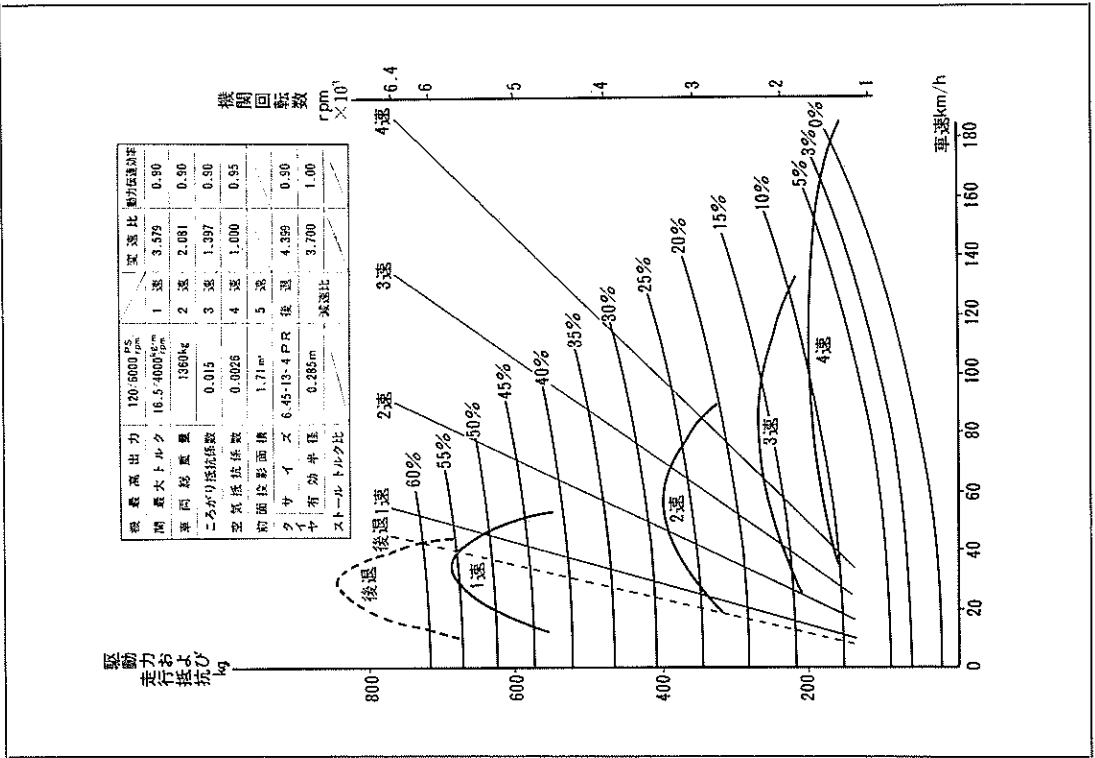


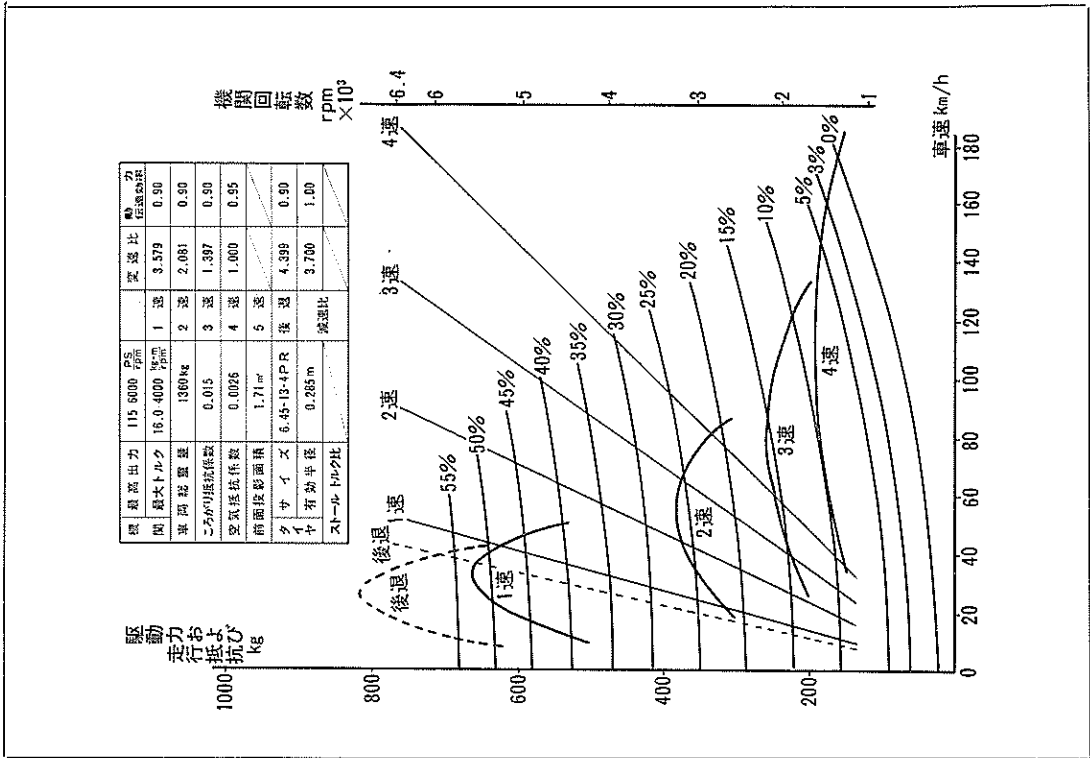


第0-24図 RX22-KN 型 車 G8834



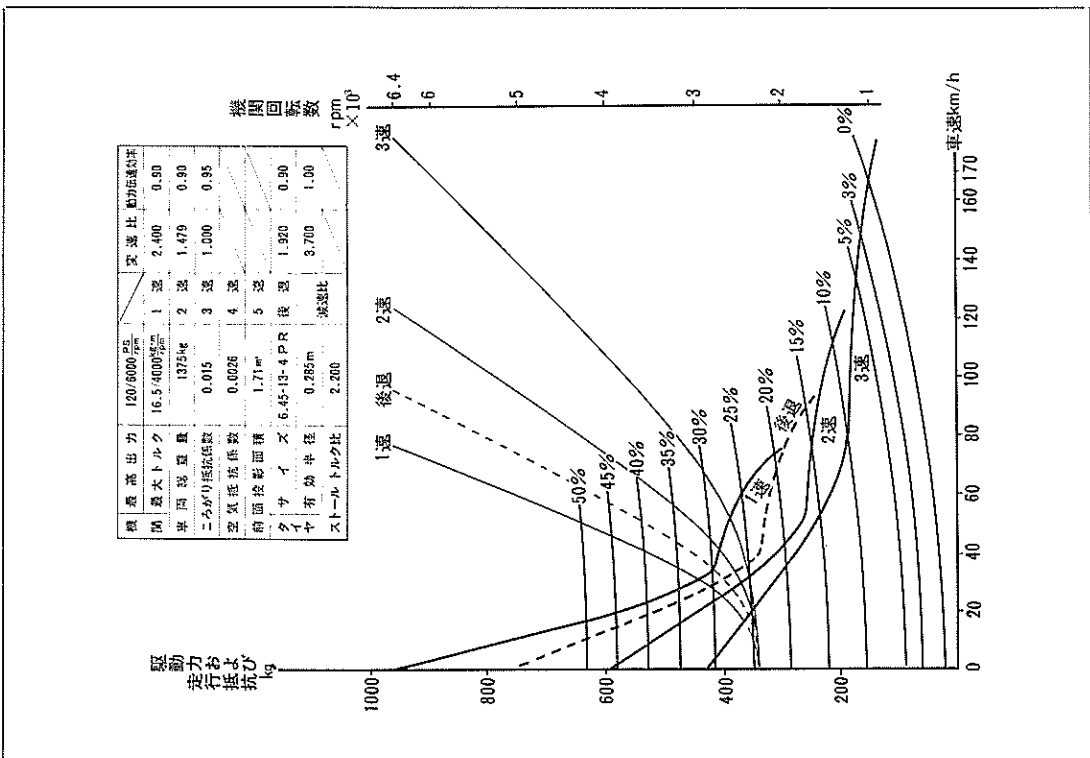
第0-23図 RX20-HD 型 車 G9041





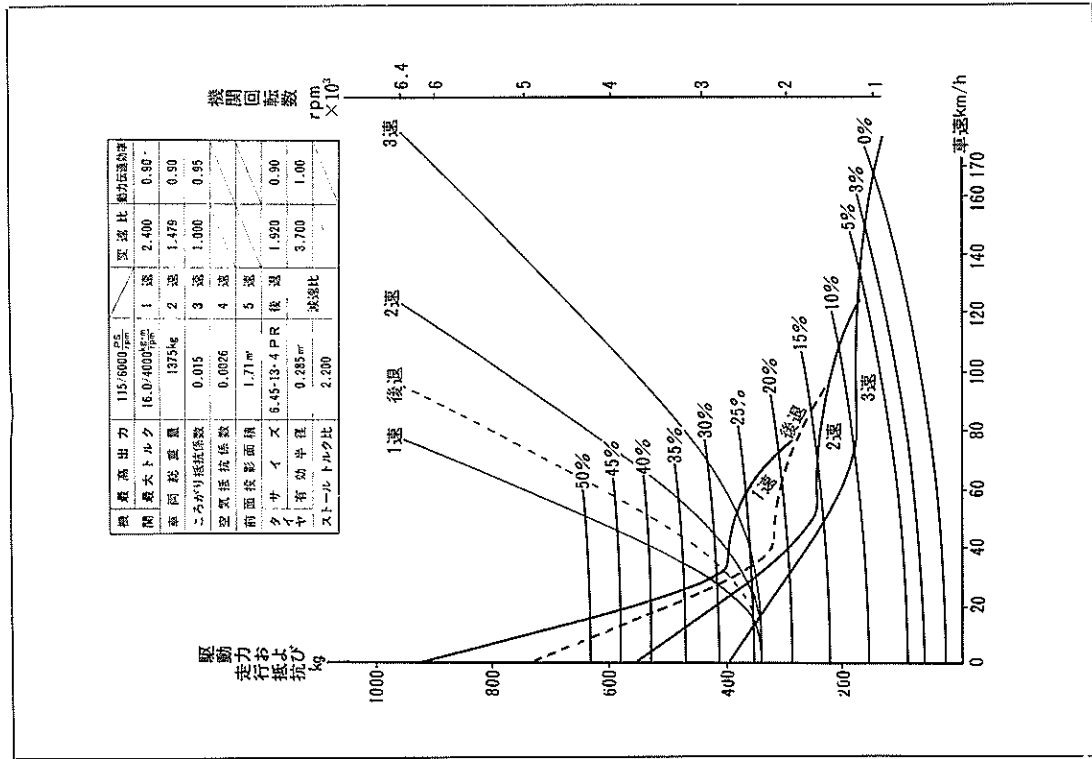
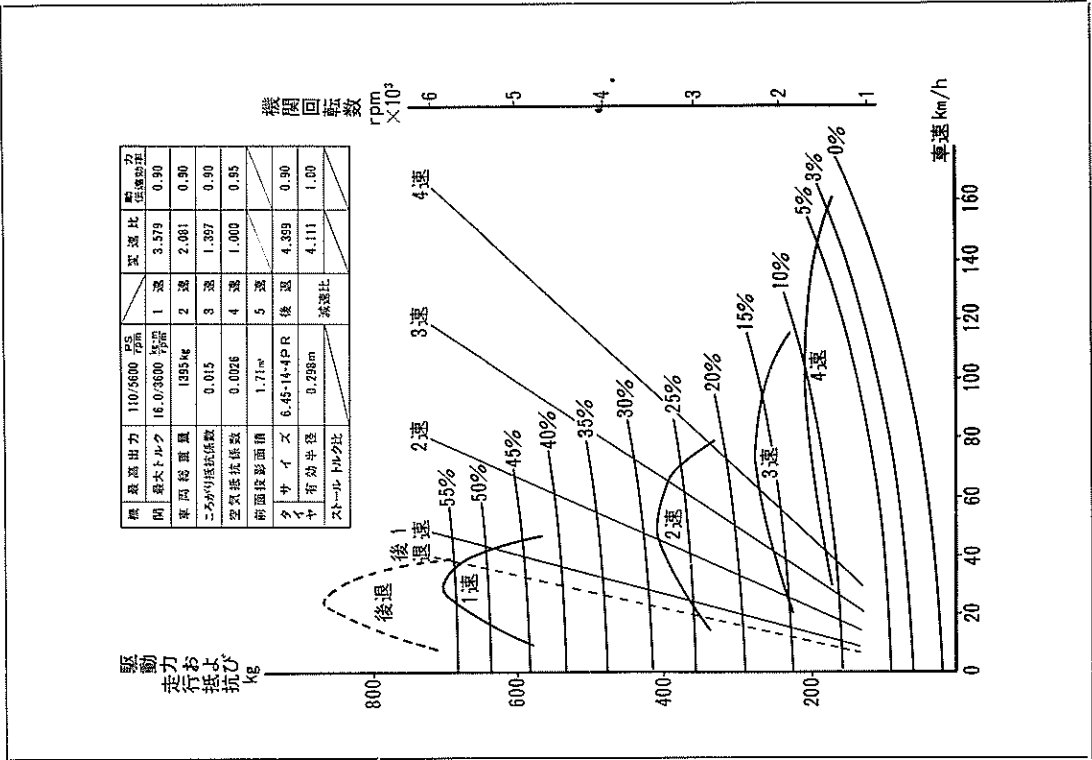
第0-28図 RX22-KNBR 型車

G8838

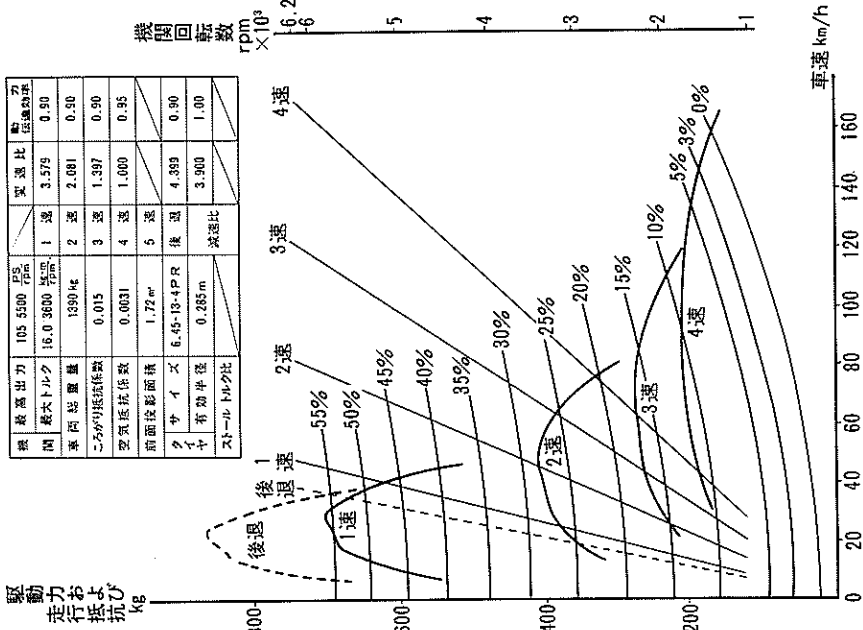


第0-27図 RX22-HNB 型車

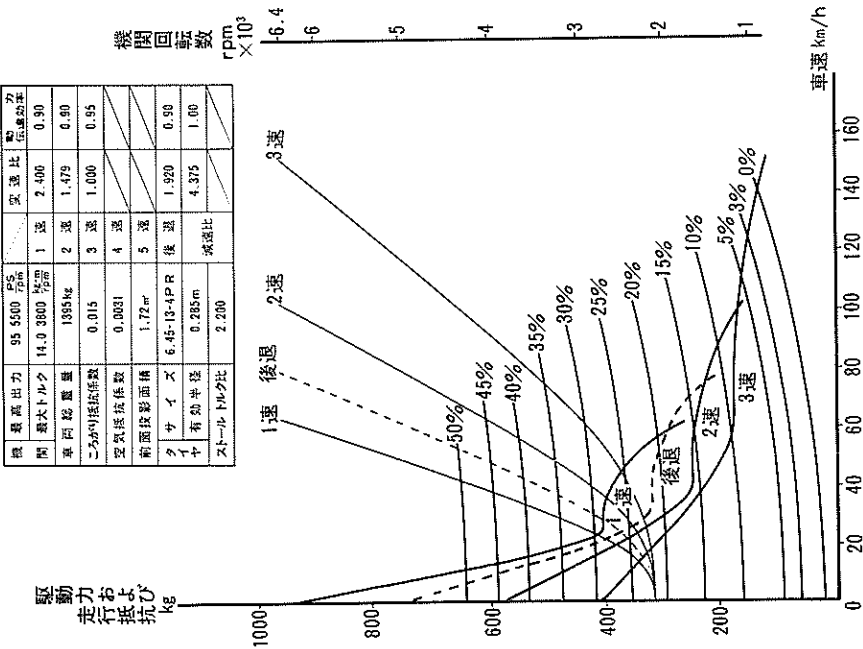
G9046

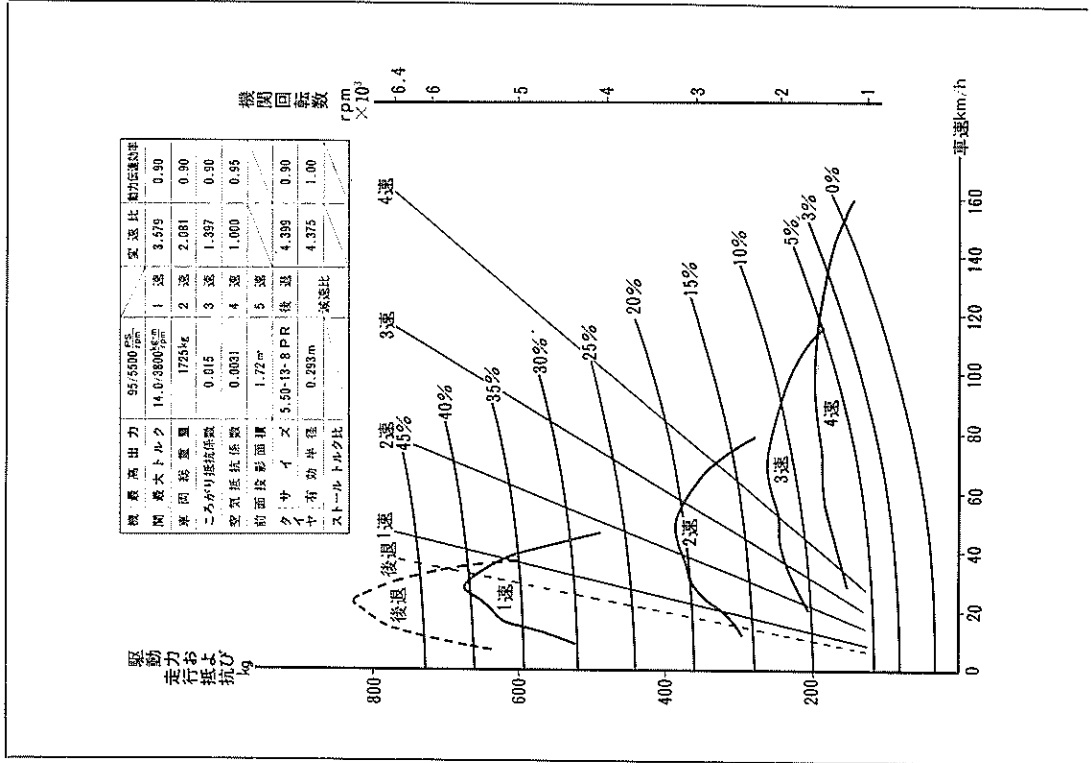


第0-34図 R X 28-K D 型車



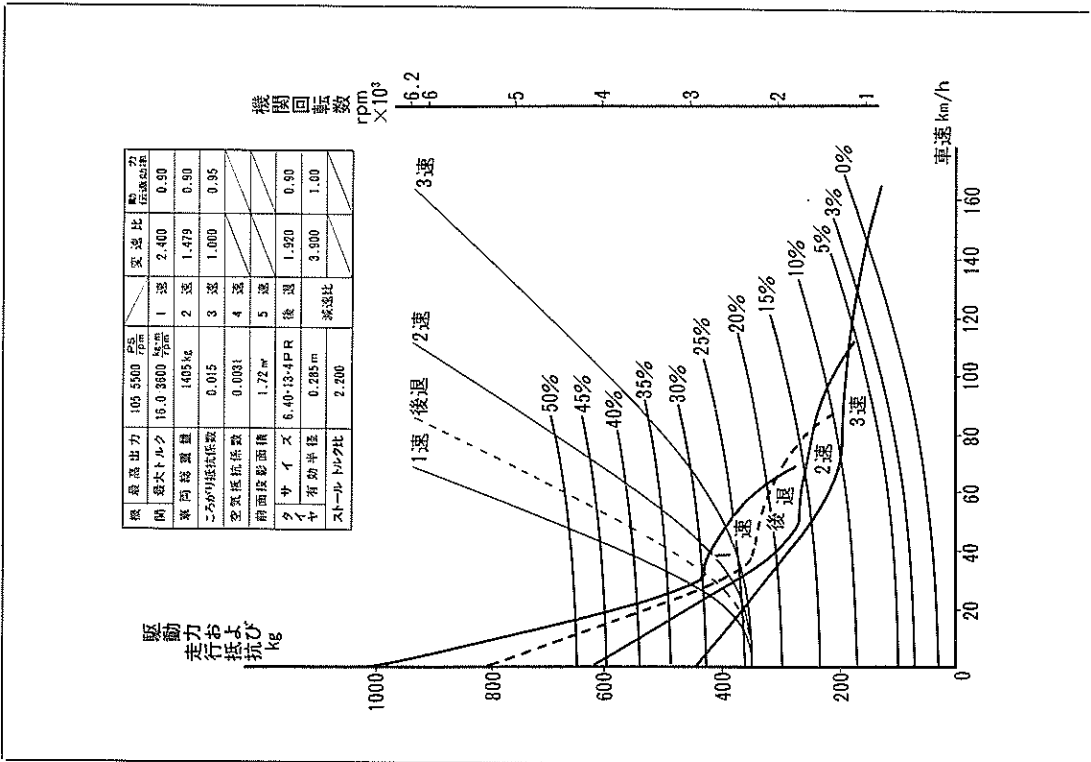
第0-33図 R X 26-N D 型車





G9058

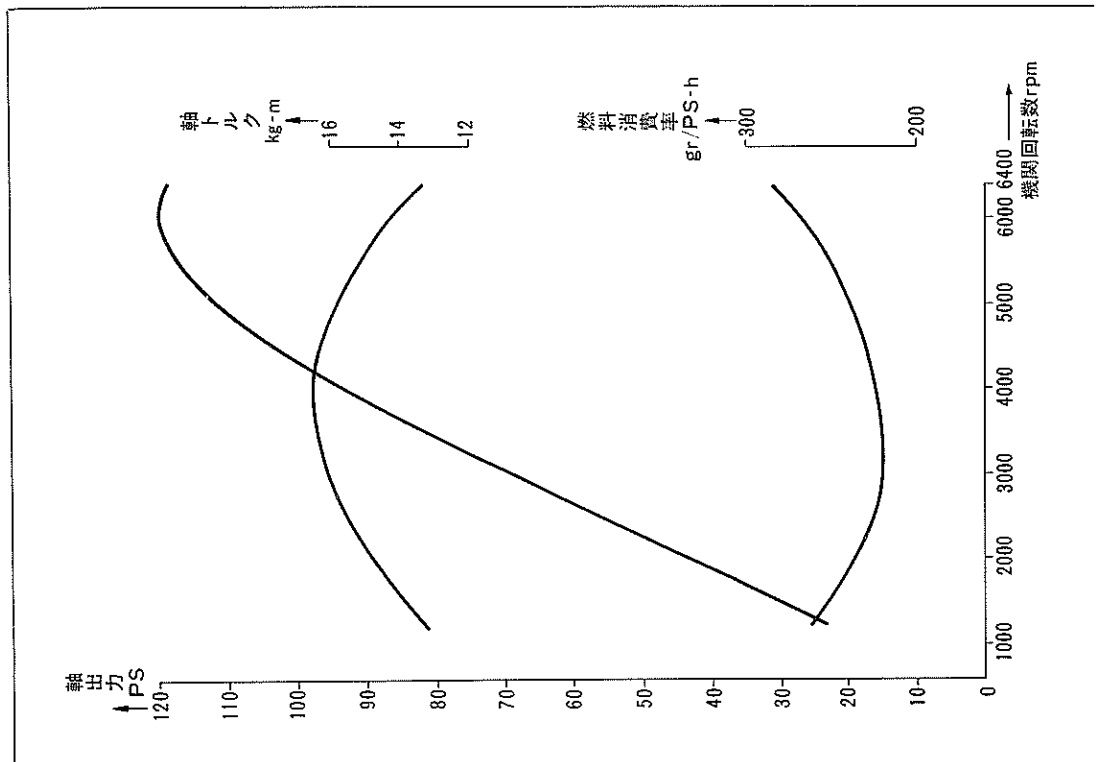
第0-36図 RX16V-KD 型車



G8845

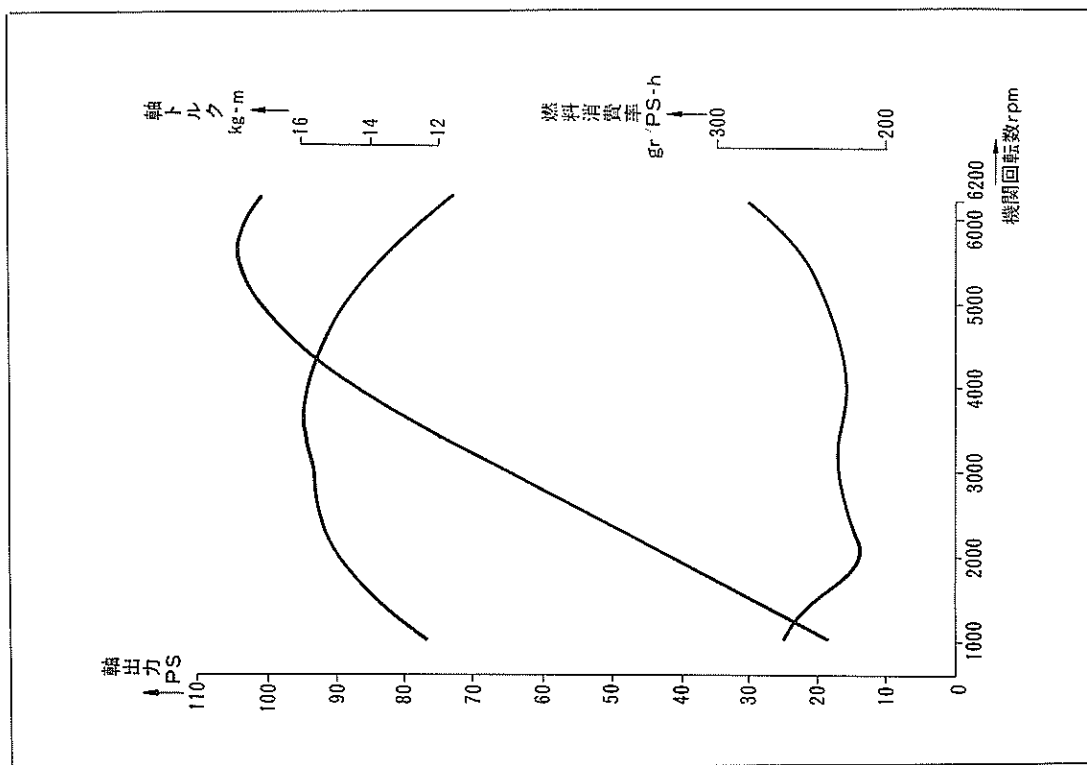
第0-35図 RX28-ND 型車

エンジン性能曲線



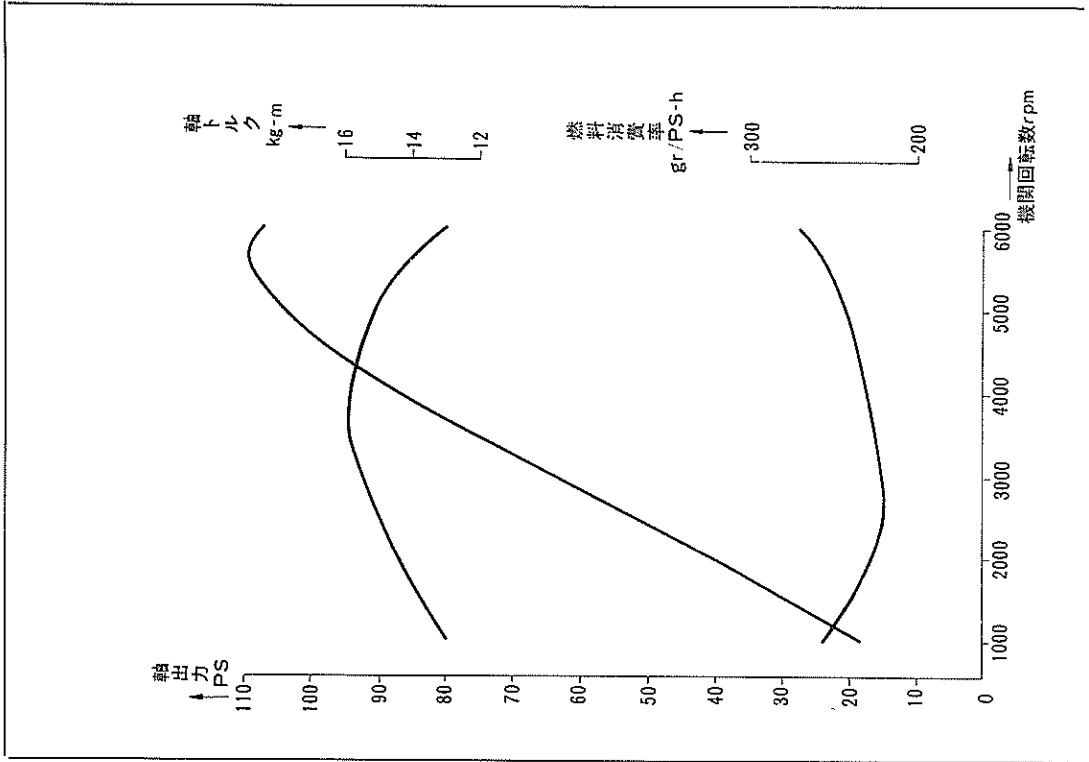
G8848

第0-38図 18B型エンジン



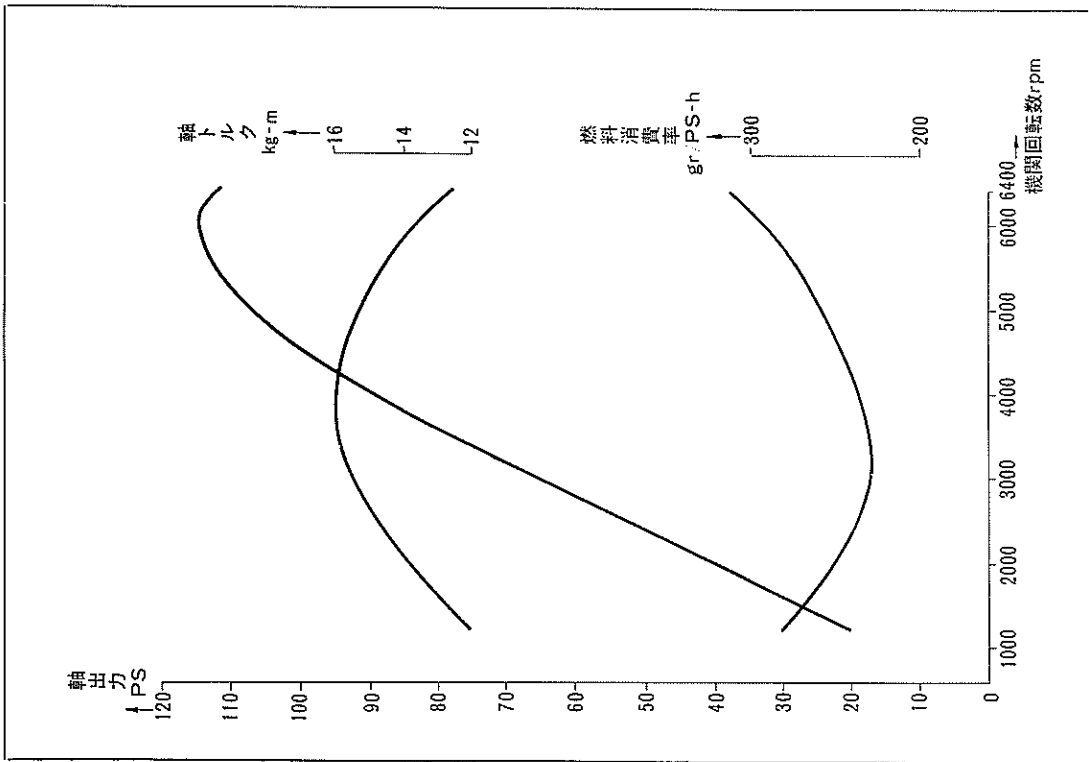
G8847

第0-37図 18R型エンジン



G8850

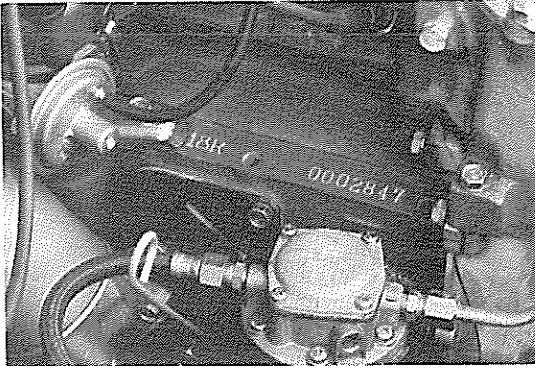
第0-40図 M型エンジン



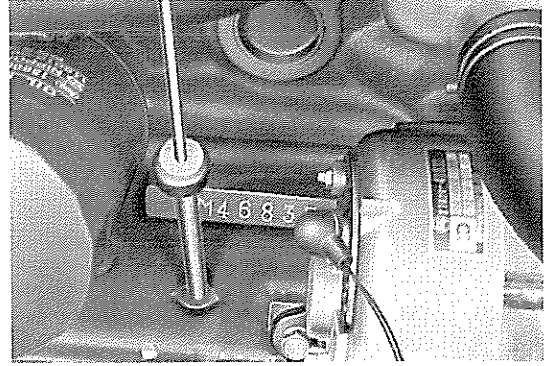
G8849

第0-39図 18R-BR型エンジン

No 打刻位置



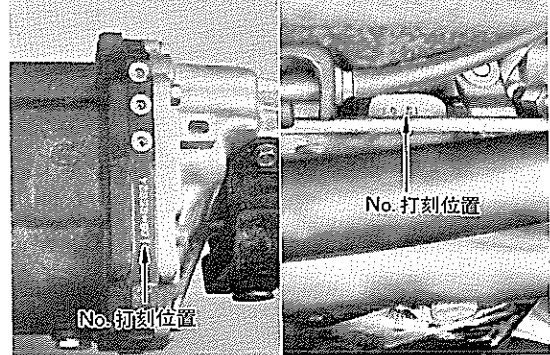
第0-41図 6 R, 18R型エンジンNo. 打刻位置 C0053



第0-42図 M型エンジンNo. 打刻位置 C0101



第0-43図 フレームNo. 打刻位置 C0054



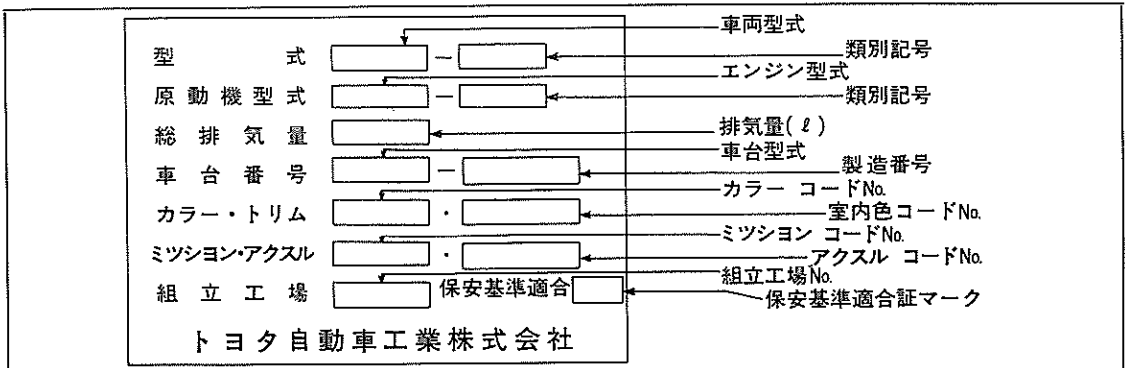
第0-44図 トランスミッションNo.打刻位置 C0813 C0814

ネーム プレート

ネーム プレートは、車両型式、原動機型式、総排気量、車台番号を従来通り記入してあります。それに、カラー・トリム（ボデー カラー No.、室内色 No.）、ミッション・アクスル（ミッションコード No.、アクスルコード No.）、組立工場（組立工場 No.）、保安基準適合証マークが新たに記入されていますので、類別等は、ネームプレートで判断することができます。



第0-45図 ネーム プレート C0332



1 車両型式と類別記号

型 式			類 別 記 号			
車台型式	エンジン 型 式	ボデー 型 式	類別記号	ミッション・ シフト型式	グレード	エ ン ジ ン 類 別
R X10	6 R	セダン	YR	3段ギヤ・コラム	スタンダード	標準型 (レギュラ ガソリン仕様)
R X12	18R	〃	YD	〃 ・ 〃	デラックス	〃 〃
MX10	M	〃	ND	3段トルコン・〃	〃	〃 〃
R X20	6 R	ハード トップ	KD	4段ギヤ・フロア	〃	〃 〃
R X22	18R	〃	KDB	〃 ・ 〃	SL	高速型 (ハイオクタン ガソリン仕様)
MX20	M	〃	KDBR	〃 ・ 〃	〃	高速型 (レギュラ ガソリン仕様)
R X26	6 R	ワゴン	HD	3段トルコン・ フロア	デラックス	標準型 (レギュラ ガソリン仕様)
R X28	18R	〃	HDB	〃 ・ 〃	SL	高速型 (ハイオクタン ガソリン仕様)
R X16V	6 R	バン	HDBR	〃 ・ 〃	〃	高速型 (レギュラ ガソリン仕様)
			KN	4段ギヤ・フロア	GL(L)	標準型 (レギュラ ガソリン仕様)
			KNB	〃 ・ 〃	GSL	高速型 (ハイオクタン・ガソリン仕様)
			KNBR	〃 ・ 〃	〃	高速型 (レギュラ ガソリン仕様)
			HN	3段トルコン・ フロア	GL(L)	標準型 (レギュラ ガソリン仕様)
			HNB	〃 ・ 〃	GSL	高速型 (ハイオクタン ガソリン仕様)
			HNBR	〃 ・ 〃	〃	高速型 (レギュラ ガソリン仕様)

2 エンジン型式と類別記号

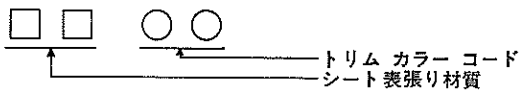
エンジン 基本型式	類別記号		
	類別記号	種類	使用ガソリン仕様
6 R	なし	標準型	レギュラ
18 R	-B	高速型	ハイオクタン
M	-BR	〃	レギュラ

3 カラーコード No.

※ は ハイメタリック

セダン系		ハードトップ系		バン, ワゴン系	
カラーネーム	コード No.	カラーネーム	コード No.	カラーネーム	コード No.
ウォーム シルバー M	115	バレンツ シルバー M	112	グラス グリーン	634
パープリツシユ グレー M	116	サモア ターコイズ M	704	アンバー イエロー	507
ミッドナイト ブルー M	823	ノーブル ゴールド M	627	リリー ホワイト	019
※インペリアル ゴールド M	626	ナチュラル グレー M	114	パープリツシユ レッド M	907
※ゴールデン ブライト M	631	ジャマイカ ブラウン M	418	コルシカ ブラウン M	419
ロイヤル ゴールド M	628	モンツア オリーブ	512	コスミツク ブルー M	826
アクアマリン グリーン M	629	※パンバス ゴールド M	624	ネービー ブルー	825
パール ブルー M	805	グリーン スパイス M	625	メキシカン レッド	301
ディープ グリーン M	630	※ムーンライト ラベンダー M	906		
シユノンソ ホワイト	007	ブラツク ライトニング	613		
		メキシカン レッド	301		
		シユノンソ ホワイト	007		

4 室内色コード No.



セダン系

シート表張り材質記号			トリム カラー コード No.	
記号	シート種類	表張り材質	コードNo.	室内色基調
FA	スプリット	ファブリック A	21	ブラック
FB	セパレート	＃	31	レッド
FC	＃	ファブリック B	41	ゴールド
FD	＃	＃	81	ブルー
KA	＃	ニットテープヤーン		

ハードトップ系

シート表張り材質記号			トリム カラー コード No.	
記号	シート種類	表張り材質	コードNo.	室内色基調
EH	セパレート	通気性発泡レザー	21	ブラック
EJ	＃	＃	31	レッド
FL	＃	ファブリック B	41	ゴールド
FM	＃	＃	81	ブルー
KB	＃	ニットテープヤーン		
KC	＃	＃		

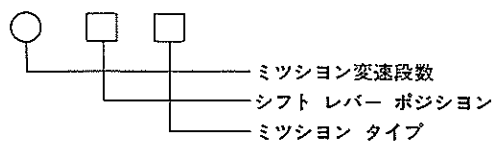
ワゴン系

シート表張り材質記号			トリム カラー コード No.	
記号	シート種類	表張り材質	コードNo.	室内色基調
FT	スプリット	ファブリック A	31	レッド
FU	セパレート	＃	41	ゴールド
			81	ブルー

バン系

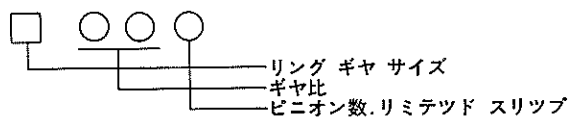
シート表張り材質記号			トリム カラー コード No.	
記号	シート種類	表張り材質	コードNo.	室内色基調
LB	ベンチ	普通レザー	21	ブラック
FR	ベンチ	ファブリック A	41	ゴールド
FS	セパレート	＃	81	ブルー

5 ミツシヨン コード No.



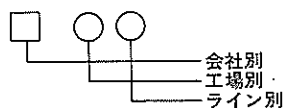
ミツシヨン 変速段数		シフト レバー ポジシヨン		ミツシヨン タイプ	
コード No.	変速段数	コード No.	シフト レバー ポジシヨン	コード No.	ミツシヨン タイプ
3	3 段	F	フロア シフト	1	マニュアル標準型
4	4 段	H	コラム シフト	3	マニュアル低速型
				C	トルコン

6 リヤ アクスル コード No.



リング ギヤ サイズ		ギヤ 比		ピニオン数, リミテッド スリッパ		
コード No.	リング ギヤ サイズ	コード No.	ギヤ 比	コード No.	ピニオン数	リミテッド スリッパ
D	6.62 インチ	05	3.700	2	2	無
E	7.0 インチ	07	3.900			
		08	4.111			
		10	4.375			

7 組立工場 No.



コード No.	会社	工場名	ライン
A 23	トヨタ自動車工業	元町工場	第3ライン
C 21	トヨタ車体	富士松工場	—
M 21	関東自動車工業	東富士工場	—

定期手入れ表

☆印は保安部品の定期交換時期を示す。

点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期						交 換 時 期 (年)			
			新車時 点検		自家用		事業用等			走行 キロ メートル の 整 備 Tkm		
			1 0 0 0 km	5 0 0 0 km	3 か 月 ご と	6 か 月 ご と	12 か 月 ご と	1 か 月 ご と			3 か 月 ご と	12 か 月 ご と
か じ 取 り 装 置	ハンドル	遊び, ゆるみおよびガタ	○			○	○	○	○	○		
		操作具合	○			○	○	○	○	○		
	ギヤ ボックス	油漏れ	○			○	○	○	○	○		
		取り付けのゆるみ	○			○		○	○			
		軸受け部のガタ									○	
		ギヤのバックラッシュ									○	
		セクタ シヤフトのき裂									○	
	ロッドおよび アーム類	ゆるみ, ガタおよび損傷	○			○	○	○	○	○		
		連結部の摩耗および取り付け状態									○	
		ナツクル アームのき裂およびナツクルとの取り付け状態									○	
	ナツクル	結合部のガタ					○		○	○		
		き裂									○	
	かじ取り車輪	ホイール アライメント	○				○		○			
		左右の回転角度					○		○			
	パワー ステアリング 装置	油漏れ, 油量	○	○	○	○	○	○	○	○		
		取り付けのゆるみ	○			○	○	○	○	○		
		Vベルトのゆるみ, 損傷	○	○		○	○	○	○	○		
		ホース交換										☆ 4
		オイル交換									30	2
	ブレーキ ペダル	遊びおよび踏み込んだときの床板とのすき間	○	○	○	○	○	○	○	○		
ブレーキのきき具合, 片ぎき					○	○	○	○	○			
引きしろの余裕		○	○	○	○	○	○	○	○			
ブレーキのきき具合					○	○	○	○	○			
ラチェット部の摩耗および損傷						○		○				
ロッドおよび アーム類	ゆるみ, ガタおよび損傷				○	○	○	○	○			
ホースおよび パイプ類	漏れ, 損傷および取り付け状態	○			○	○	○	○	○			
ブレーキ フルード	液量	○	○	○	○	○	○	○	○			
	交換(ディスク ブレーキ車)					○				40(20)	2(1)	
倍力装置	機能					○						
	油密および気密									○		
	チエツク バルブおよびリレー バルブの機能									○		
	ゴム部品交換										☆ 2	
	バキューム ホース交換										☆ 4	
	エア クリーナの詰まり					○	○	○	○	○		

点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期						交 換 時 期 (年)			
			新車時 点検		自家用		事業用等			走行キ ロごとの 整備 千km		
			1 0 0 0 km	5 0 0 0 km	3	6	12	1			3	12
					か 月 ご と	か 月 ご と	か 月 ご と	か 月 ご と			か 月 ご と	か 月 ご と
制 動 装 置	マスク シリ ンダおよび ホイール シリンダ	機能、摩耗および損傷				○		○				
		カツプ、バルブ、ブーツ交換								☆2		
	オイル プレツ シヤ スイッチ	交換								☆4		
	ブレーキ ホース	交換（事業用は2年）								☆4		
	Pバルブ	交換								☆4		
	ブレーキ	ドラムとライニングとのすき間				○	○	○	○	○		
		シューのしゅう動部分およびライニングの摩耗					○		○	○		
		ドラムおよび	ドラムの摩耗および損傷				○			○		
		ブレーキ	ディスクとパッドとのすき間				○	○	○	○	○	
		シュー	パッドの摩耗		○	○	○	○	○	○	○	
	ディスクの摩耗および損傷				○			○				
バック プレート	状態								○			
E S C	作動状態		○	○	○	○	○	○	○			
	ゴム部品交換									☆2		
走 行 装 置	リヤ アクスル ハウジング	き裂、損傷および変形							○			
	ホイール	タイヤの空気圧				○	○	○	○	○		
		タイヤのき裂および損傷				○	○	○	○	○		
		タイヤのみぞの深さおよび異常摩耗				○	○	○	○	○		
		タイヤの金属片、石、その他の異物				○	○	○	○	○		
		クリップ ボルトおよびハブ ボルトのゆるみ	○			○	○	○	○	○		
		リム、サイド リングおよびホイール ディスクの損傷				○	○	○	○	○		
		フロント ホイール ベアリングのガタ				○	○		○	○		
		リヤ ホイール ベアリングのガタ					○			○		
フロント ホイール ベアリング グリース交換									40 2			
暖 衝 装 置	シヤシ バネ	損傷				○	○	○	○			
		左右たわみの不同					○		○			
	取り付け部 および連結部	取付部(ブラケット部を除く)のゆるみおよび損傷	○			○	○	○	○	○		
		連結部のガタ					○			○		
		リーフのずれ					○			○		
ブラケットの取り付けのゆるみおよび損傷						○			○			

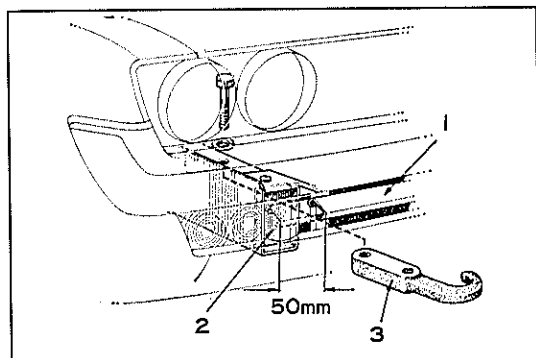
点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期							交 換 時 期 (年)		
			新車時 点検		自家用		事業用等				走行キ ロごとの 整備 千km	
			1 0 0 0 km	5 0 0 0 km	3	6	12	1	3			12
					か	か	か	か	か			か
緩 衝 装 置	サスペンション アーム およびナックル サポート	連結部のガタ	○			○	○	○	○			
		ボール ジョイントのダスト シールの損傷	○			○	○	○	○			
	シヨック アブソーバ	油漏れ				○		○	○			
損傷					○		○	○				
取り付け部のガタ					○		○	○				
動 力 伝 達 装 置	クラッチ および トランス ミッション	クラッチの作用				○	○	○	○			
		クラッチの液量	○	○	○	○	○	○	○			
		クラッチ ペダルの遊びおよび切れたときの床板とのすき間	○			○	○	○	○			
		トランスミッションの油漏れ(量)	○			○	○	○	○			
		オートマテイツク トランスミッション フルードの漏れ(量)	○	○	○	○	○	○	○			
		トランスミッションの操作機構のガタ				○			○			
		トランスミッション オイル交換								30	2	
達 装 置	プロペラ シャフト	連結部のゆるみ				○	○		○	○		
		振れ					○		○	○		
		スプライン部のガタ					○			○		
		軸受け部のガタ					○			○		
		センタ ベアリングのガタ					○			○		
	デイフアレン シヤル	油漏れ(量)	○			○	○	○	○			
		オイル交換								30	2	
ドライブ シャフト (リヤアクスル シャフト)	ねじれおよびき裂								○			
電 気 装 置	点火装置	デイストリビュータのキャップの状態				○	○	○	○	○		
		断続器の状態				○	○	○	○	○		
		点火プラグの状態	○			○	○	○	○	○		
		点火プラグ交換					○		○	○		
		点火時期	○			○	○	○	○	○		
		進角装置の機能					○	○	○	○		
		レジステイブ コードの抵抗(2年ごとに点検)							○	○		
	始動装置	ピニオンのかみ具合					○		○	○		
	充電装置	充電作用					○	○	○	○		
	バッテリ	液量	○	○	○	○	○	○	○	○		
比重						○		○	○			
電気配線	接続部のゆるみおよび損傷					○	○	○	○			

点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期							交 換 時 期 (年)		
			新車時 点検		自家用			事業用等			走行 キロごとの 整備 千km	
			1 0 0 0 km	5 0 0 0 km	3	6	12	1	3			12
					か 月 ご と	か 月 ご と	か 月 ご と	か 月 ご と	か 月 ご と			か 月 ご と
原	本体	かかり具合いおよび異音				○	○	○	○			
		低速および加速の状態	○			○	○	○	○			
		排気の状態	○			○	○	○	○			
		エア クリーナ エレメントの状態		○	○	○	○	○	○			
		エア クリーナ エレメント交換(SU車)						○	○		2(1)	
		圧縮圧力							○			
		弁すき間	○			○	○	○	○			
		シリンダ ヘツドおよびマニホルド各部締め付け	○						○			
原	ブローバイ ガス 還元装置	メーターリング バルブの状態					○	○	○			
		PCVバルブ交換(事業用)							○		4(1)	
		配管の詰まりおよび損傷					○	○	○			
動	潤滑装置	油漏れ	○			○	○	○	○			
		エンジン オイルの汚れおよび量				○	○	○	○			
		オイル クリーナの詰まり						○	○			
		オイル フィルタ交換	○					○	○		10	
		エンジンオイル交換	○	○	○	○	○				5	
機	燃料装置	燃料漏れ	○			○	○	○	○			
		キャブレタ各部の汚れ	○			○	○	○	○			
		キャブレタのリンク機構の状態	○			○	○	○	○			
		キャブレタのスロットル バルブおよびチョーク バルブの状態	○			○	○	○	○			
		キャブレタのフロート レベルの状態	○			○	○	○	○			
		キャブレタの調整の状態	○			○	○	○	○			
		燃料供給ポンプの機能							○			
		フューエル ホース損傷	○			○	○		○			
		フューエル ホース交換(事業用は2年)									☆4	
		燃料フィルタの詰まり					○	○	○			
		燃料フィルタの交換									2	
キャブレタ ダンパ オイルの量(交換)				○	○		○	○	2			

点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期							交 換 時 期 (年)			
			新車時 点検		自家用			事業用等			走行 キロごとの 整備 千km		
			1 0 0 0 km	5 0 0 0 km	3	6	12	1	3			12	
					か	か	か	か	か			か	か
原 動 機	冷却装置	水漏れ、量（交換）	○			○	○	○	○	○		2	
		ラジエータ キャツプの機能				○	○	○	○	○			
		ラジエータ ホース交換(事業用は2年)										4	
		ベルトのゆるみおよび損傷	○			○	○	○	○	○			
灯 火 ・ 計 器 等	警音機、方向指示器、窓ふき器、灯火装置	作用				○	○	○	○	○			
	後写鏡	写影の状態				○	○	○	○	○			
	計器	作用				○	○	○	○	○			
車 台 ・ 車 体 ・ そ の 他	エキゾーストパイプおよびマフラ	取り付けのゆるみおよび損傷				○	○	○	○	○			
		機能						○	○	○			
	車わくおよび車体	ゆるみおよび損傷	○				○		○	○			
		ドア ロックの機能					○	○	○	○	○		
		シヤシ各部の給油脂状態					○	○	○	○	○		
		座席ベルトの損傷および取り付け状態					○	○	○	○	○		
		頭部後傾抑止装置の状態					○	○	○	○	○		
		グリース アツプ										40	2
		ヒータ ホース交換											4
		フューエル タンク フリーザ チューブのチェック バルブ交換											2
フューエル タンク キャツプ ガasket交換											2		

けん引時ロープがけ位置

フロントの場合（オプション）



第0-46図 フロントけん引時

G9338

フロント バンパ ストーン ガーニツシュ右側(1)を右端から50mm切り取り、右サイドメンバのホールプラグ(2)を打ち抜き、けん引フック(3)を第0-46図のように取り付ける。

リヤの場合



第0-47図 リヤけん引時

C0106

車両の右後に取り付けてあるけん引フックにけん引ワイヤを取り付ける。

作業にあたって

- 1 分解、修理または点検、調整等で、ボデー塗装面、内張りまたはシート等を汚損、損傷する恐れのある場合には、フェンダカバーまたはシートカバー等でおおってから作業するようにしてください。
- 2 エンジンその他の機構をオーバーホールする場合には、各部品を混同しないよう、整理保管してください。
- 3 電源電圧のかかっている個所の整備を行なう場合は、必ずバッテリーケーブルを⊖端子から切り離れた後、作業するようにしてください。
- 4 油、水漏れ防止のため必要に応じて液体パツキン（シールパツキン No.2, No.4, No.5）を使用してください。
- 5 ボルトはトヨタ規格に定められたものを規定の場所に組み付け、必要に応じてトルクレンチを使用して規定のトルクで締め付けてください。
- 6 ガasket、Oリング類は分解のたびごとに新品と交換してください。
- 7 分解、修理で部品を交換する場合には、必ずトヨタ純正部品を使用してください。イミテーション部品を使用することは機能低下を早めるばかりでなく、保安上からも非常に危険なことです。
- 8 車両前部または車両後部だけジャッキアップする場合には安全性確保のため、必ず輪止めをしてください。
- 9 車両をジャッキアップした場合は必ずスタンドでささえるようにしてください。わずかな作業でもジャッキだけで作業するのは非常に危険なことです。
- 10 修理個所によつてはスペシャルサービスツール（SST）を必要とする場合があります。これらの個所の修理には必ずSSTを使用して適正な作業を行なってください。

MEMO